

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日)

社会福祉
法人

北見市社会福祉協議会

令和元年度北見市社会福祉協議会事業報告

事業報告の概要

【総括】

平成31年度は、5月に天皇陛下が即位され令和元年となりました。本会は、6月に役員改選が行われ、新執行体制となりました。令和2年2月頃から新型コロナウイルスの感染が拡大し、3月から市の公共施設が臨時休館となるなど、予定していた事業が行えなくなり、更には新年度の事業計画及び予算の審議をいただく理事会及び評議員会も書面審議にせざるを得ないなど、大きな影響を受けました。

年度末には、新型コロナウイルスの感染拡大により収入が減少した方々への「緊急小口資金・総合支援資金特例貸付」について北海道社会福祉協議会事業の窓口として、激増した貸付の対応のため受付事務職員体制を強化し取り組んでいます。

地域支え合い事業は事業実施に向け取り組みましたが、内容の精査、準備に時間を要し協力員の募集を行いました。新型コロナウイルスの感染の拡大の時期と重なり事業実施を一旦中断せざるを得ませんでした。

成年後見事業においては、法に定める成年後見制度利用促進基本計画に基づき、現状や課題を把握することを目的として、関係機関で相談援助に従事する職員を対象にアンケート調査に取り組みました。

地域福祉部門では、小地域ネットワーク事業で「いきいきふれあいサロン」の活動の支援に繋げるため市内のサロンへの訪問活動に取り組みました。また、高齢者や障がい者等が身近な地域において集える場所が提供できるよう、市内の各民間事業所を対象にサロン活動などで貸し出し可能な空きスペースの調査を行い、結果を冊子にまとめ市内89ヶ所に配付しました。

また、在宅生活に支援が必要な高齢者等に対し、住民の連携と相互扶助を促進する「地域支え合い事業」実施に向け内容精査を行い、北見市との共催で北見・留辺蘂自治区で行った地域支え合いサポーター養成講座終了後に協力会員の募集を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大により事業実施にまでは至りませんでした。

障がい者福祉では、2年ぶりに「ふれあい広場」を開催し大勢の来場者にお越しいただきました。また、福祉ショップ「テルベ」については出展事業者を1事業者開拓したほか、令和2年度にはさらに1事業者を増やし、新たな商品販売に取り組むこととしました。

ボランティア活動では、ひとり暮らし高齢者宅の外窓ふきを行う「思いやり届け隊」事業を、近隣住民や実施地域の中学生ボランティア等の「ご近所力」により、新たに中央地区、西部・相内地区地域包括支援センターの一部エリアにおいて実施することが出来ました。

各地域包括支援センターエリアにおいて、地域の福祉課題や困りごとの解決に向け、日常生活圏域ごとに設置されている第2層協議体を中心として、住民同士による支え合いの地域づくり会議を開催し、その仕組みづくりと活動支援に向け努めるとともに、個別の多種多様な相談ニーズや地域課題の解決に向け、関係機関などと連携を図りながら地域ケア会議や地域ケア個別会議などを開催しその対応にあたりました。

生活支援部門では、高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で、尊厳のある安心した生活を送ることができるよう、生活の基盤となる権利擁護の推進と、生活上の様々な困りごとを抱える方々への包括的な支援に取り組みました。

成年後見支援センター事業では、成年後見制度利用促進基本計画に沿って、北見市における当該制度の現状や課題等を把握するため、関係機関で相談援助に従事する職員を対象としたアンケート調査を実施しました。70機関・事業所、243人から得た調査結果からは、成年後見制度に関する様々な課題等が明らかとなり、次年度の取り組みへの大変貴重な資料とすることができました。

地域に身近な市民の立場で成年後見活動を担う市民後見人養成研修を北見自治区で開催し、新たに26人が第4期養成研修を修了され、これまでの養成者は129人となりました。また養成研修の実施に当たっては、過去に本養成研修を修了された方で構成する「きたみ市民後見人の会」会員に研修運営への協力をいただき、支え合う地域づくりへの機運を高め合う機会とすることができました。

法人後見事業では、家庭裁判所の審判に基づき29人の後見人等を受任し、また日常生活自立支援事業では任意代理契約に基づく20人の金銭管理等を担いました。両事業を必要とされる方の増加に対応するため、併行して市民や関係機関の皆様に地域共生社会の理念と事業の必要性を理解していただくことをはじめ、支え合う地域づくりに向けた支援員の確保、養成に継続して取り組む必要があります。

自立支援センター事業では、失業や生活の困窮、ひきこもり、多重債務、病気など複合的な困りごとを抱える相談に対して相談者の思いに寄り添った支援に努めたほか、家計相談支援事業を通して、家計収支の均衡が取れていない相談者に対する生活の再建に向けた支援に努めました。

ひきこもりの人やその家族等に対する支援は、個別の事情にあわせて、より丁寧な支援が必要であり、対応する職員体制の強化や、関係機関・市民がひきこもりの人をより理解し支え合うための学習機会や仕組みづくりに取り組むことなどへの課題が明らかとなりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響による休業や失業等によって収入が減少した世帯に対する「緊急小口資金・総合支援資金特例貸付」などの支援策が迅速に活用されるよう、受付事務職員体制を強化し、法人全体の最優先事項として取り組んでまいりました。

在宅福祉部門では、消費増税に合わせて報酬単価が増額改正となり、合わせて事務事業費の縮減に努めましたが、実質には収支マイナスとなる厳しい事業所経営となりました。

このことは、ヘルパーステーションにおける前年度から続く退職者の補充に努めましたが人材確保が叶わない状況による利用者の減少の他、令和2年2月からの新型コロナウイルス感染拡大により介護保険等サービスの利用控えや利用制限等の影響を受け、デイサービスセンター、ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所において利用中止者が増え収入減となりました。

ヘルパーステーションと居宅介護支援事業所では、事業所の再編統合以降、人材確保が難しい状況にあって、公共性が高い社会福祉協議会が担う社会的責任として、柔軟な職員調整や効率的な業務分担により市内全域へのサービス提供に努めているところであります。

デイサービスセンターと地域包括支援センターが実施する介護予防支援事業所においては、地域に根差したより身近な存在としてのサービス提供に努め、指定管理者、受託事業者の責務を果たしてまいりました。

法人運営部門では、法人の運営や事業の執行において、理事会や評議員会、法律顧問に取り組みや課題等に対し協議いただき、また、健全経営に向け、監事や会計顧問に財務や経営状況に対するご教示をいただき、運営に努めてまいりました。また、事業の推進にかかり地域福祉推進委員会や地域福祉活動合同本部会議において、それぞれの地域の実態を共有しながら福祉のまちづくりに努めてまいりました。

法人経営において、持続可能な介護保険等サービス事業所の経営を目指し、事務部門を総務課へ移管することにより、事業の効率化と事務経費の縮減に取り組みました。

人口減少と少子高齢化が急速にすすむ社会環境にあつて、自主財源である社協会費やご寄付の増額等は難しい社会情勢であります。役員等の皆さまや職員の尽力により前年度を上回る収入を確保することができました。

また、平成31年4月1日から施行された「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」の対応として、①労働基準法第39条に基づく年次有給休暇10日以上付与者の5日間取得義務にかかる改正、②正規職員と非正規職員間の不合理な待遇差の禁止にかかる給与面の待遇差の縮小及び職務内容の明確化、③労働時間の客観的な把握の義務付けにかかる指紋認証タイムレコーダーの導入及び出勤簿様式の変更等による現認体制の強化、④「時間外労働及び休日労働に関する協定」の締結、以上4点の対応を実施することといたしました。

世界的な脅威となっている新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、北見市や北海道社会福祉協議会等関係機関と情報共有を図り、事業のあり方の判断や利用者等への対応を行ってまいりました。当協議会として、事務事業にかかる対応及び職場環境、就業状況等の方針「新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための北見市社会福祉協議会の対応について」を令和2年2月27日に作成し、職員一丸で感染症への予防と拡大防止への取り組みを徹底してまいりました。また、指定管理施設である「総合福祉会館」「老人いこいの家」「はあとふるプラザ」において、それぞれの施設利用におけるガイドラインを作成し、感染症拡大防止への対応に取り組んでまいりました。このことにより、多くの地域福祉を支える事業が中止になるなど事業・運営に大きな影響を受けましたが、感染者を発生させることはありませんでした。また、同時に衛生管理や事業継続にかかる計画の重要性を改めて考える機会となりました。

具体的事業報告

I. 地域福祉事業

1. 高齢者福祉事業

福祉活動を実践する高齢者団体への援助・協力及び在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯等が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、閉じこもり防止や孤立感の解消や生きがいつくり事業などを実施し、高齢者福祉を推進しました。

(1) 高齢者団体福祉活動助成事業（本所）

No.	高 齢 者 団 体 名	会員数	主 な 活 動 内 容
1	ときわ南老人クラブ	121 人	社会奉仕活動・福祉施設奉仕活動・共同募金協力
2	北 光 老 人 ク ラ ブ	47 人	福祉施設奉仕活動・異世代交流事業・共同募金協力
3	幸 野 付 牛 ク ラ ブ	99 人	福祉施設奉仕活動・異世代交流事業・共同募金協力
4	中央地区シルバークラブ	53 人	社会奉仕活動・地域高齢者との親睦・健康増進活動
5	もみじ橋老人クラブ	78 人	社会奉仕活動・地域高齢者との親睦・共同募金協力
6	豊 地 も い わ ク ラ ブ	42 人	社会奉仕活動・福祉施設奉仕活動・地域清掃活動
7	小 泉 老 人 ク ラ ブ	46 人	福祉施設奉仕活動・地域清掃活動・健康増進活動
8	桜 町 老 人 ク ラ ブ	43 人	福祉施設奉仕活動・異世代交流事業・地域清掃活動
9	相内ときわ老人クラブ	78 人	社会奉仕活動・地域高齢者との親睦
10	光西さわやかクラブ	41 人	社会奉仕活動・福祉施設奉仕活動・地域高齢者との親睦
11	北 光 西 老 人 ク ラ ブ	93 人	社会奉仕活動・異世代交流事業・地域清掃活動
12	南 老 人 ク ラ ブ	24 人	社会奉仕活動・異世代交流事業・福祉施設奉仕活動

助成金額：20,000 円 対象条件：地域において福祉活動を実施する老人クラブ

(2) 地域支え合い事業（本所・留辺蘂支所）

※令和元年度モデル的に実施予定であったが新型コロナウイルスの感染拡大防止により実施できず、令和2年度にモデル事業として実施予定。

(3) 地域支え合いサポーター養成講座の開催（北見市との共催）

区 分	開 催 年 月 日	場 所	延参加者
本 所	令和元年 11 月 20 日・22 日・25 日	市民会館	65 人
留辺蘂	令和 2 年 1 月 14 日・21 日・28 日	はあとふるプラザ	59 人

内容：助け合い体験ゲーム、グループワーク、認知症への理解、活動のマナーと心得など

(4) ひとり暮らし高齢者団体への支援（本所）

①北見市若がえり友の会（ひとり暮らし高齢者当事者団体）への支援

1. 例 会：毎週水曜日 於：総合福祉会館 延参加者：約 300 人
2. 交流会：4 回 於：十勝川温泉・阿寒湖畔温泉・清里町・クリスマス交流会
延参加者：96 人

(5) ふれあいサービス事業（端野・常呂・留辺蘂支所）

区 分	事 業 名	内 容	回 数	延人数
端 野	ふれあい食事会	会食、講話、ゲーム	2 回	111 人
	ふれあい郵便	各種事業案内、情報提供	12 回	70 人
	声かけ訪問（または電話）	ひとり暮らし高齢者に対する安否確認、相談援助（訪問・電話）	月 1 回	291 人
	愛の訪問	端野地区赤十字奉仕団員、社協職員が誕生日にあわせ訪問し祝品を送る。	61 回	61 人
	その他（個人・団体からの寄贈品の宅配等）	①蛸子武氏（あんパン、恵方巻）②端野地区赤十字奉仕団（手作りパン）	3 回	190 人

常 呂	ふれあい食事会	会食、ゲーム大会、縁日 異世代交流、自治区外視察研修	4 回	280 人
	ふれあい郵便	誕生日カード・暑中見舞い・年賀状	3 回	589 人
	安心訪問	社協職員と生活支援コーディネーターが訪問しひとり暮らし高齢者に対する安否確認、相談援助	5 回	312 人
留辺蘂	いきいきふれあいの集い（運営委員会方式）	5 会場で実施。バス研修、講話、食育、レクリエーション他	23 回	1,274 人

(6) 介護用品給付事業（常呂支所）

対象者：4 人 延利用者数：40 人 内容：おむつ・尿取パット等

(7) 敬老祝品事業（留辺蘂支所）

時：令和元年 9 月 14 日 於：留辺蘂町公民館

※留辺蘂自治区「長寿を祝う会」開催時に祝菓子を参列者 320 人に贈呈

(8) 生きがい健康づくり増進事業（常呂支所）

ふまねっと体験会 時：令和元年 12 月 18 日～令和 2 年 2 月 20 日 実施回数：5 回

延参加者：169 人 ※社協・包括・老人クラブとの共催

2. 障がい者福祉事業

広く市民に対して障がい者への理解や啓蒙を推進しました。また、障がい者の生きがいづくりや社会参加の促進等を図りました。

(1) 障がい者自立者表彰

時：令和元年 8 月 25 日 於：第 37 回北見市ふれあい広場特設ステージ 被表彰者：1 人

(2) ふれあい広場（本所・留辺蘂支所）

区 分	内 容
本 所	第 37 回北見市ふれあい広場 時：令和元年 8 月 24 日～25 日 於：サンドーム北見 来場者：4,624 人 参加団体：障がい者団体・関係団体 30 団体 実行委員会 実施回数：1 回 於：総合福祉会館 参加者：43 人
端 野	ふれあい広場たんの「施設見学」 時：令和 2 年 3 月 12 日予定 ※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
常 呂	みんなの広場 時：令和元年 10 月 27 日 於：常呂町多目的研修センター 来場者：109 人 参加団体・事業所：11 団体 6 事業所 実行委員会 実施回数：1 回 於：老人いこいの家 参加者：12 人
留辺蘂	①ふれあい広場るべしべ「秋まつりへのチャリティーバザー参画」 時：令和元年 9 月 28 日 於：留辺蘂町中央公園 参加団体：2 団体 ②第 30 回ふれあい広場るべしべ「芸能交流会」等 時：令和元年 12 月 7 日 於：留辺蘂町公民館 来場者：450 人 出店（展）数：6 団体・1 個人 出演団体：28 団体 実行委員会 実施回数：1 回 於：はあとふるプラザ 参加者：11 人

(3) 障がい者ネットワーク「常呂ささえてネット」（常呂支所）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) ワークサポート事業（常呂支所）

対象者：2 人 実施回数：37 回 於：老人いこいの家 延参加者：74 人

内容：牛乳パックリサイクル作業、廃油石鹸袋詰、リサイクル用紙で封筒作り

3. 児童・青少年福祉事業

次代を担う、児童への支援活動に取り組む団体等への支援を推進しました。

(1) 子ども会活動への支援（本所・端野支所）：随時

4. 小地域ネットワーク事業

北見市、北見市民生委員児童委員協議会、北見市北見自治会連合会とともに、市民に対して地域における共助や互助の取り組みと、ともに支え合う安心・安全・福祉のまちづくりを推進しました。また、町内会や自治会、小地域での福祉活動や支え合い活動の支援、サロン活動の啓蒙・啓発を図りました。

(1) 地域福祉活動合同推進本部の運営（本所）

①地域福祉活動合同推進本部事務局会議の開催

時：令和元年9月17日 於：総合福祉会館 参加者：7人

②地域福祉活動研修会（支え合いの地域づくりフォーラム）※自立支援センターとの共催

時：令和元年11月23日 於：ホテル黒部 参加者：184人

講演：『地域包括ケア政策の総括と地域共生社会の必要性』

～なぜひきこもりや生活困窮者は生まれるのか～

講師：講師 一橋大学大学院 社会学研究科 教授 猪飼 周平 氏

内容：制度の狭間をすり抜けて困窮する人やひきこもる人はなぜ生まれるのかを社会科学の視点からひも解くとともに、その方たちへの支援の具体的手法について講話をいただくとともに地域福祉の最前線で支援に取り組む実践者から、北見市における生活困窮者支援や支え合う地域づくりの必要性について考えました。

(2) 町内会（自治会）福祉活動の推進

①町内会福祉活動助成事業（本所・端野支所）

1. 本 所

No.	町 内 会 名	活 動 内 容	開始年度
1	旭3区自治会	サロン活動、高齢者への除雪支援	H26
2	緑ヶ丘もみじ町内会	福祉活動研修会の実施、施設入居者を招いた行事	H28
3	北光光栄町内会	環境美化活動、高齢者への除雪支援	R1
4	3丁目北友会	環境美化活動、高齢者への除雪支援	R1

助成金額：1町内会20,000円（5年間）

対象条件：北海道町内会連合会の助成事業を受けた後、翌年度も引続き福祉活動を実践する町内会に対して助成

2. 端野支所

No.	町 内 会 名	活 動 内 容
1	緋牛内自治連合会	高齢者世帯等対象の除雪活動
2	一区自治連合会	高齢者世帯等対象の除雪活動
3	端野自治連合会	高齢者等を対象とした除草・除雪活動 （その他、交通安全防犯巡回指導等・防犯活動等）
4	三区自治連合会	安心カードの取組等
5	川向自治連合会	高齢者世帯等の除雪活動
6	協和自治連合会	高齢者世帯等の除雪活動

助成金額：30,000円（6団体）

対象条件：地域に居住する「要支援者」に対する福祉活動を行う自治連合会

②小地域ネットワーク研修会（留辺蘂支所・自治会協議会と共催）

時：令和2年3月13日予定 於：留辺蘂町公民館

講演：「起きてからじゃ遅い！自然災害に備えて取るべき行動、心構えを身につけよう」

講師：網走地方気象台 谷内 一弘 氏（網走地方気象台「出前講座」）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③出前サロンいきいき（常呂支所）

開 催 年 月 日	場 所	内 容	参加者
令和元年 6 月 21 日	日吉会館	ふまねっと運動	21 人
令和元年 11 月 27 日	共立会館	ゲーム	33 人

④町内会（自治会）への福祉活動の情報提供及び支援：随時

(3) サロン事業の推進

①いきいきふれあいサロン事業

No.	サロン団体名	地区	人数	サロンの主な活動内容
1	末広クラブサロン	北見	14人	麻雀・健康講座等
2	サロンふれあい津田		24人	お茶・お花・福祉講座等
3	さくらの会		25人	麻雀・認知症・健康に関する学習会等
4	このゆびとまれ		25人	料理教室・福祉講座等
5	ワンツーネットサロン		40人	コグニサイズ・シナプソロジー等
6	いきいき地域サロン咲顔の会		25人	健康体操・健康に関する学習会等
7	サロン青空		18人	習字・ぬり絵・介護予防学習会等
8	元気会		22人	ストレッチ体操・脳トレ等
9	はつらつ会		28人	ふまねっと・ストレッチ体操等
10	相内・スマイル		20人	ヨガ・ふまねっと・福祉講座等
11	カトレア会		20人	筋力トレーニング・福祉講座等
12	いきいきサロン「平和ランチの会」		30人	介護予防に関する運動・福祉講座等
13	ふれあいサロンこころ会		16人	ふまねっと・ストレッチ体操等
14	コミュニティーサロン花		21人	生け花・習字・ふまねっと等
15	ひまわり会		12人	ふまねっと・体力測定等
16	たんぽぽの会		13人	カーリンコン・介護予防学習会
17	タンポポの会		19人	ふまねっと・福祉講座等
18	アンファーズ		8人	茶話会・料理教室
19	ほっとひといき		18人	茶話会・介護予防学習会
20	笑がおの会		7人	軽運動・介護予防学習会
21	いなほの会		8人	体操・ぬり絵・読み書きかせ等
22	サロン すみれ会		20人	介護体操・介護予防講座
23	にこにこ会		7人	茶話会・収穫体験等
24	にこにこサロン		17人	ふまねっと・介護予防学習会
25	東相内すずらん会		23人	脳トレ・体力測定等
26	楽楽会		32人	健脚チェック、シナプソロジー等
27	パッチワークサークル花もめん（新）		14人	パッチワーク・ストレッチ体操等
28	絵手紙サークルれら（新）		10人	絵手紙・工作レッスン等
29	ふまねっと友の会（新）		40人	ふまねっと・体力測定等
30	サロンうさぎの会（新）		15人	ラジオ体操・きたみんと体操
31	ビューティーライフサロン（新）		10人	笑いヨガ・介護予防運動他
32	サークルらくらく体操（新）		10人	健美操・シルバーヨガ
33	お楽しみ会	端野	17人	ふまねっと・嚥下障害の学習会等
34	ほがらかクラブ		29人	コグニサイズ・ふまねっと等
35	ほのぼのクラブ（新）		29人	コグニサイズ・ふまねっと
36	いこいでワッハ	常呂	24人	コグニサイズ・太極拳
37	元気クラブ		15人	コグニサイズ・脳トレ等
38	ストレッチ23	留辺蘂	23人	健康体操・介護予防学習会等
39	温根湯はつらつサークル		24人	ストレッチ体操・栄養に関する学習会等
40	留辺蘂ふまねっとやろう会		28人	ふまねっと・脳トレ・歌・ゲーム等
41	笑うつつじ会		20人	ふまねっと・脳トレ・福祉講座等

助成金額：21,000 円（1 団体）・30,000 円（9 団体）・35,000 円（3 団体）・40,000 円（1 団体）
50,000 円（27 団体）

対象条件：地域に居住する「高齢者」「障がい者」「子育て世帯」などの各種別参加者を対象にサロン活動を実施する団体

②いきいきふれあいサロン事業代表者会議及び実践者交流会（本所）

時：令和2年2月25日予定 於：総合福祉会館

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③サロン参加促進事業「ふれあいサロン実践者交流会」（留辺蘂支所）

時：令和2年3月予定 於：留辺蘂町公民館

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④活動スペースの提供可能な施設等をまとめた冊子の作成

提供可能施設：21ヶ所 配布施設：89施設

5. 子育て支援事業

(1) 子育てサポート事業の実施（常呂支所）

①木のおもちゃ・ベビー用品整備・貸出事業

貸出件数：17件（木のおもちゃ：3件、ベビー用品：14件）

貸出物品：チャイルドシート、ベビーベット、木製おもちゃ

6. 結婚相談事業

(1) 結婚相談所の運営及び結婚相談事業の推進

①結婚相談員連絡会議の開催 回数：10回 於：総合福祉会館 結婚相談員数：10人

②ふれあい交流会の開催

時：令和元年6月22日 於：カラオケスナックロアール31

参加者：12人（男性8人・女性4人）

③登録者：124人（男性82人・女性42人） ④成立数：1組

7. 地域援助事業（端野・常呂・留辺蘂支所）

(1) 会員弔意事業

区 分	弔意品	配付件数
端 野	ロウソクセット	46 件
常 呂	ロウソクセット	50 件
留辺蘂	供花料（5,000 円）	101 件

8. 共同募金助成事業

(1) 福祉団体等運営費助成事業

区 分	本 所	端 野	常 呂	留辺蘂
実 績	30 団体	5 団体	1 団体	3 団体
金 額	853,000 円	160,000 円	30,000 円	80,000 円

(2) 歳末たすけあい見舞金の贈呈

市民から寄せられた歳末たすけあい義援金により、低所得世帯に対する年末年始の生活の一助を目的とした見舞金や、福祉団体等が行う歳末事業に対して助成金を贈呈しました。

区 分	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	合 計
本 所	90 世帯	9 世帯	13 世帯	3 世帯	—	115 世帯
端 野	4 世帯	1 世帯	—	—	—	5 世帯
常 呂	3 世帯	—	—	—	—	3 世帯
留辺蘂	6 世帯	10 世帯	2 世帯	2 世帯	1 世帯	21 世帯
合 計	103 世帯	20 世帯	15 世帯	5 世帯	1 世帯	144 世帯

※贈呈総額 1,653,000 円

(3) 福祉団体等歳末助成事業

区 分	福祉団体歳末事業	
	助成団体数	助成金額
本 所	14 団体	440,000 円

9. 福祉ショップ事業

福祉施設・作業所製品の販売を通じて障がい者に対する認識や理解への促進を図りました。

(1) みんなのふれあい福祉ショップ『テルベ』の運営（本所）

①売上実績

施 設 名	売上金額	売上点数	主な販売品目
川 東 の 里	117,590 円	543 点	ハガキ・炭製品、花アレンジ
工 房 と み さ と	686,450 円	1,383 点	ドライフラワー類、布縫製品
る べ し べ 光 星 舎	16,120 円	105 点	石鹸・ペットスナック
る べ し べ や よ い 苑	36,350 円	56 点	陶器・リース類
遊 友 ほ た る	203,330 円	156 点	木工品類リース類、ハッカグッズ
い き い き 陶 芸 会	377,180 円	707 点	陶器
サ ン ラ イ ズ ヨ ピ ト	48,460 円	229 点	押し花ストラップ、葉書類・陶器
N P O 法 人 さ わ や か	393,190 円	1,878 点	石鹸・和紙製品・みそ
ベーカリーカフェローフ	32,005 円	197 点	小物・パン
パ レ フ ラ ン セ	686,885 円	3,885 点	パン
エ ス ポ ワ ー ル 北 見	290,310 円	539 点	織物・マグネット・キーホルダー
び ー ぼ	12,100 円	134 点	木工品類・小物
アート活動支援室びかり	1,460 円	3 点	小物
合 計	2,901,430 円	9,815 点	※1 日平均：7,971 円

②催事の実施

1. 生産フェア 時：令和元年10月19日～20日 於：イトーヨーカドー北見店

10. ボランティア事業

福祉教育の推進が求められる中、総合学習や体験学習の取り組みを通じて市内の各学校との積極的な連携を図り、協力校の増進に努めてきました。またボランティアへの様々なニーズへの対応に、更なるボランティアの育成と体制の強化、また稼働率の向上が求められており、ボランティア登録数の増加に努めるとともに派遣先の開拓を進めて参りました。

(1) ボランティア市民活動センターの運営

①ボランティア市民活動センター運営委員会の開催（本所・常呂支所）

区 分	会 議 名	場 所	回 数	出席者
本 所	ボランティア市民活動センター運営委員会	総合福祉会館	2 回	34 人
常 呂	ボラセンところ運営委員会	老人いこいの家	2 回	16 人

②ボランティア派遣需給調整業務の推進

区 分	依 頼 受付数	ボランティア 派遣回数	ボランティア 派遣人数	ボランティア 活動時間	ボランティアに よる支援者数	需給調整 回 数
在宅ボランティア	265 件	477 回	759 人	913 時間	480 人	1,289 回
施設・団体ボランティア	382 件	742 回	2,503 人	6,313 時間	22,805 人	1,287 回
合 計	647 件	1,219 回	3,262 人	7,226 時間	23,285 人	2,576 回

※需給調整回数：センター職員による依頼者とボランティアを繋ぎ合わせる作業実績回数

③ボランティアアシスタント・ボランティアアドバイザー業務の推進（本所）

1. アシスタント会議の開催 回数：11 回 於：総合福祉会館 延参加者：83 人
2. アドバイザー会議の開催 回数：5 回 於：総合福祉会館 延参加者：34 人

3. ボランティアサロンの開催

No.	開催年月日	場 所	内 容	参加者
1	平成 31 年 4 月 23 日	総合福祉会館	ボランティアカフェ	19 人
2	令和元年 9 月 13 日	中央地区住民センター	ボランティアカフェ	27 人
3	令和元年 11 月 16 日	とん田地区住民センター	ボランティアカフェ	27 人
4	令和 2 年 2 月 12 日	総合福祉会館	ボランティアカフェ	23 人

④スマイル届け隊（出前講師・派遣披露紹介事業）の推進

手品披露	健康・体験学習	音楽披露	舞踊披露	福祉・災害	合 計
9 件	12 件	21 件	21 件	4 件	67 件

⑤個人・団体ボランティアとの交流・情報交換の場づくり

区 分	事業名	場 所	内 容	回数	延参加者
端 野	ボランティアサロン	在宅介護支援センター	交流・情報交換	5 回	37 人

⑥支え合いの地域づくりを推進するボランティア等の活動支援

区 分	事業名	場 所	内 容	回数	延参加者
本 所	思いやり届け隊	高栄・美山・とん田地区住民センター	窓ふきボランティア	2 回	163 人
	思いやり届け隊	美山地区住民センター	雪よけボランティア	1 回	27 人
常 呂	まごの手届け隊	老人いこいの家	窓ふきボランティア	2 回	29 人

⑦ボランティア研修・交流会の開催

区 分	事業名	開催年月日	場 所	参加者
本 所	ボランティア研修・交流会	令和元年 12 月 6 日	市民会館	41 人
常 呂	ボランティア交流事業	令和元年 8 月 2 日	老人いこいの家	44 人
	ボランティア交流会	※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止		

⑧物品寄付状況

寄 付 先	件 数	内 容
社会福祉協議会へ	62 件	書き損じ葉書・マスク・切手・タオル・雑巾・本・食料品他
各福祉施設団体へ	43 件	紙おむつ・車いす・タオル・雑巾・ひな人形・手押し車・衣類他

(2) ボランティア登録事業の推進

①個人・団体及び災害ボランティアの登録促進

1. 個人 登録人数：503 人 新規登録人数：47 人 稼働率：48.7%（登録者の活動割合）
2. 団体 総登録団体数：101 団体・総人数：4,329 人（新規登録数：6 団体・休止中：4 団体）

②登録説明用パンフレットの整備・活用：随時

③ボランティア活動保険及びボランティア行事用保険の加入促進

1. ボランティア活動保険 個人登録加入者数：99 人 団体登録加入者：1,640 人
2. ボランティア行事用保険 加入件数：84 件
3. 事故報告：12 件（傷害事故：4 件・賠償事故：8 件）

(3) 養成・研修事業の推進

①各種ボランティア講座の開催

区 分	事業名	開催年月日	場 所	参加者
本 所	ボランティア入門講座Ⅰ	令和元年 5 月 21 日	総合福祉会館	15 人
	ボランティア入門講座Ⅱ	令和元年 5 月 22 日	総合福祉会館	16 人
	ボランティア入門講座Ⅲ	令和元年 5 月 23 日	総合福祉会館	16 人
	車椅子・ガイドヘルプ学習会	令和元年 7 月 27 日	総合福祉会館	8 人
	地域支え合いサポーター養成講座	令和元年 11 月 20 日	市民会館	22 人
	地域支え合いサポーター養成講座	令和元年 11 月 22 日	市民会館	22 人
	地域支え合いサポーター養成講座	令和元年 11 月 25 日	市民会館	22 人
	傾聴ボランティア講座	令和 2 年 2 月 1 日	総合福祉会館	41 人

端 野	災害ボランティア体験講座（老連共催）	令和 2 年 1 月 24 日	端野町公民館	44 人
常 呂	ボランティア講座	令和元年 10 月 27 日	多目的研修センター	19 人
留辺蘂	地域支え合いサポーター養成講座	令和 2 年 1 月 14 日	はあとふるプラザ	23 人
	地域支え合いサポーター養成講座	令和 2 年 1 月 21 日	はあとふるプラザ	23 人
	地域支え合いサポーター養成講座	令和 2 年 1 月 28 日	はあとふるプラザ	24 人
	傾聴ボランティア講座	令和 2 年 1 月 31 日	はあとふるプラザ	23 人

②その他、各種研修会・大会への派遣・参加

事 業 名	開 催 年 月 日	場 所	参加者
ボランティア愛ランド北海道 in えさし	令和元年 9 月 28 日	江差町文化会館	17 人
オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラム	令和元年 10 月 19 日	オホーツク・文化交流センター	18 人

(4) 福祉教育推進事業

①福祉教育実践校・ボランティア協力校事業の推進

1. 福祉教育実践校

区 分	学校数	学 校 名
実 践 校	2 校	中央小学校・光西中学校

2. ボランティア協力校

区 分	学校数	学 校 名
小 学 校	8 校	西・北光・相内・東相内・若松・端野・錦水・川沿小学校
中 学 校	5 校	南・小泉・上常呂・相内・東相内中学校
高 校	2 校	工業・藤高校

②小中高校・大学における総合学習（福祉教育）及び福祉実習への支援

No.	開 催 年 月 日	場 所	内 容	対象	人数
1	平成 31 年 4 月 25 日	北光小学校	車いす疑似体験	6 年生	80 人
2	平成 31 年 4 月 26 日	相内中学校	高齢者疑似体験	3 年生	13 人
3	令和元年 5 月 28 日～30 日	医師会看護学校	ボランティア実習	3 年生	4 人
4	令和元年 6 月 18 日～20 日	医師会看護学校	ボランティア実習	3 年生	2 人
5	令和元年 6 月 25 日	高栄中学校	高齢者疑似体験	1 年生	29 人
6	令和元年 7 月 3 日	高栄中学校	講話「高齢者の暮らしについて」	1 年生	116 人
7	令和元年 8 月 20 日～22 日	医師会看護学校	ボランティア実習受	3 年生	3 人
8	令和元年 9 月 27 日	藤高校	車いす疑似体験	1 年生	82 人
9	令和元年 9 月 28 日	藤高校	車いす疑似体験	1 年生	81 人
10	令和元年 10 月 1 日～3 日	医師会看護学校	ボランティア実習	3 年生	3 人
11	令和元年 10 月 9 日	上仁頃小学校	車いす疑似体験	5 年生	5 人
12	令和元年 10 月 31 日	日赤看護大学	ボランティアセンター概要について	2 年生	103 人
13	令和元年 11 月 6 日	日赤看護大学	ボランティア活動調整方法について	2 年生	103 人
14	令和元年 12 月 11 日	相内中学校	車いす・アイマスク体験	1 年生	19 人
15	令和 2 年 2 月 5 日～6 日	光西中学校	車いす疑似体験	1 年生	152 人

③学生ボランティア活動への支援・育成

区 分	団 体 名	内容及び対応
本 所	小中高生ボランティアサークル「BLUE SPRING」	活動支援等：随時
	高校生ボランティアサークル「だるま」	派遣調整・活動の支援：随時
常 呂	常呂高校ボランティア局	活動紹介・派遣調整：随時

④児童・生徒を対象とした体験学習会開催の支援

区 分	事 業 名	開 催 年 月 日	場 所	参加者
本 所	小学生ボランティア体験学習会	令和元年 7 月 31 日	北見老人ホーム	5 人

(5) 市民啓発推進事業の実施

①多様な広報媒体を通じた積極的な情報提供

区 分	内 容	発 行 回 数	対 象
本所・端野 常呂・留辺蘂	ホームページ・フェイスブックによる情報発信	随時	全市民他
本 所	情報紙「散歩道」	12 回（第 371 号～第 382 号）	登録ボランティア（602 人）
	情報誌「スマイル」	3 回（第 29 号～第 31 号）	市内全戸
	視覚障がい者情報紙「まど」	6 回（第 180 号～第 185 号）	視覚障がい者（67 人）
端 野	支所だよりと併せた情報提供	3 回（第 44 号～第 46 号）	自治区内全戸
常 呂	情報紙「ぺったんこ」	6 回（第 198 号～第 203 号）	自治区内全戸
留辺蘂	支所だよりと併せた情報提供	2 回（第 37 号～第 38 号）	自治区内全戸

②各種啓発チラシの配布：随時

③「児童・生徒福祉作文コンクール」の実施

- 応募状況 応募数：100 作品
- 審 査 会 時：令和元年 8 月 19 日 於：総合福祉会館
- 表 彰 式 時：令和元年 8 月 25 日 於：第 37 回北見市ふれあい広場特設ステージ
- 表彰作品 18 作品（小学生低学年の部：1 作品、小学生高学年の部：6 作品、中学生部：6 作品、高校生の部 5 作品）

④ぺったんこフェスタの開催

時：令和元年 10 月 27 日 於：常呂町多目的研修センター 参加者：26 人

(6) 災害ボランティアセンターの整備

①市民及び災害ボランティア活動団体との協働：随時

②北見市防災総合訓練への参加

時：令和元年 8 月 30 日 於：川東常呂川右岸河川敷地 参加者：5 人

(7) 調査・研究事業の実施

①第 4 期地域福祉実践計画の策定に向けたアンケート調査の実施

発送日：令和 2 年 2 月 27 日 調査数：250 人（個人登録ボランティア 503 人から無作為抽出）

回答数：131 人（回答率 52.4%） ※調査結果の集計は令和 2 年度に実施

(8) 関係団体との連携

①生活支援体制整備事業 第 2 層協議体への協力

区 分	会 議 名	場 所	実施回数	延出席者
本 所	支え合いの地域づくり会議	北部地区地域包括支援センター	4 回	4 人
端 野	東部包括との第 2 層協議体設置に関する情報交換会議	在宅介護支援センター	4 回	12 人
常 呂	常呂自治区支え合いの地域づくり会議	老人いこいの家	5 回	5 人
留辺蘂	留辺蘂自治区支え合いの地域づくり会議	はあとふるプラザ	2 回	2 人

②北見市福祉の街づくり会議の援助・協力

区 分	援助・協力内容	場 所	実施回数
本 所	例会・広場会議への協力	総合福祉会館	10 回

③スマイル@カレッジへの援助・協力

区 分	援助・協力内容	場 所	実施回数
本 所	例会への協力	総合福祉会館他	10 回

④視覚障がい者「おしゃべりの集い」に対する活動支援

区 分	活動支援内容	場 所	実施回数
本 所	例会開催への調整等支援	総合福祉会館他	11 回

⑤ボランティア団体との協働

区 分	団 体 名	場 所	内 容	回 数
端 野	スマイルたんの	在宅介護支援センター	例会	6 回
	ももの会		例会	2 回

⑥運輸局北見支局交通バリアフリー教室への協力

時：令和2年2月14日 於：市立体育センター 参加者：22人

(9) オホーツク管内ボランティア活動の促進

①オホーツク圏ボランティア活動推進会議への出席

時：令和元年6月14日・令和2年1月29日 於：網走市 延参加者：4人

1.1. 福祉人材バンク事業の推進（本所）

介護職の人材確保への取り組みとして、介護職向けの講習会や職場相談会を開催し、福祉職場の理解・促進を図るとともに求人先を広げるための積極的な事業訪問を行いました。

(1) 啓発・広報事業の実施

①広報媒体を利用した求職・求人募集広告の掲載

1. 経済の伝書鳩へのPR記事掲載：毎月1回
2. 福祉人材情報システムの活用：随時
3. 専用ホームページ及びパンフレットを活用しての周知：随時

②インターネットによる求人情報の提供：随時

(2) 養成・研修事業の実施

①福祉マンパワー活用講習会

No.	開催年月日	場所	内容	参加者
1	令和元年11月1日	総合福祉会館	介護現場の事故を未然に防ぐスキルを高めるKYT研修会	16人
2	令和2年1月31日	市民会館	これからの介護を知るために（実技体験・講話）	8人

※KYTとは、危険予知訓練のこと。（危険（K）予知（Y）トレーニング（T））の略称。

②福祉養成校との共催による効果的な福祉職場相談会の開催

時：令和元年5月10日 於：オホーツク社会福祉専門学校 参加者：46人

参加法人：16法人

(3) 需給調整事業の実施

①求職・求人の開拓・登録及び就労の促進

1. 求職者：新規 男性29人・女性41人（うち、学生2人）
2. 紹介及び就職人数：紹介者 9人・就職者 27人
3. 求人数：275人 新規件数：175件

※1件に対し複数人の求人募集があるため、新規件数と新規人数に相違あり。

4. 求人及び求職相談：求人相談 506件・求職相談 362件

②求職登録者への情報提供と福祉サービスに関する相談：随時

③キャリア支援専門員の配置による就労支援強化

1. 福祉系専門学校への訪問活動：2回（市内）
2. 施設・事業所等への訪問活動：9事業所（市内5件・網走市4件）

(4) 関係機関との連携

①北海道福祉人材センター及び道内各福祉人材バンクとの連携

1. 福祉職場ガイダンスの北海道福祉人材センターとの共催

時：令和元年9月29日 於：札幌市

②ハローワークとの連携及び出張相談の実施

1. 求職者に対する福祉職場情報の提供及び相談

場 所	回 数	延人数	場 所	回 数	延人数
ハローワーク北見	12回	23人	ハローワーク網走・紋別・遠軽・美幌	4回	3人

12. 要援護高齢者福祉サービス等事業

(1) 安否確認事業

①乳酸菌飲料配布による原則週3回（月・水・金曜日）の訪問（本所・端野支所）

区 分	内 容
本 所	対象世帯数：886世帯（新規：99世帯、廃止：117世帯） 乳酸菌飲料配布回数：102,430回（月平均：8535.8回）
	安否確認件数：198件 本人不在時における電話確認件数：437件 緊急対応件数：8件 内訳：取り忘れ89件、入院13件、旅行3件、外出等10件、通院等44件、その他39件
端 野	対象世帯数：20世帯（新規：0世帯、廃止：8世帯） ヤクルト配付回数：2,991回（月平均：249.3回） 安否確認件数：2件

②電話サービスによる原則週3回（月・水・金曜日）の実施（常呂・留辺蘂所）

区 分	内 容
常 呂	対象世帯数：17世帯（新規：9世帯、廃止：3世帯、休止：1世帯） 電話連絡回数：2,025回（月平均168回） 緊急対応件数：6件 内訳：入院1件、外出5件
留辺蘂	対象世帯数：0世帯（新規：1世帯、廃止：1世帯） ※サービス決定後、入院・施設入所となった為、実績はなし。

(2) 介護用具貸与事業

介護用具名	総 数	貸与中	新規貸与	返 却
介護用ベッド	13台	5台	—	1台
車 椅 子	20台	4台	—	—

(3) 緊急通報システム設置事業

区 分	設置数	新 規	廃 止	待 機
本 所	800世帯	75世帯	131世帯	—
端 野	29世帯	4世帯	6世帯	—
常 呂	19世帯	5世帯	3世帯	—
留辺蘂	39世帯	2世帯	—	—
合 計	887世帯	86世帯	140世帯	—

(4) 除雪サービス事業

区 分	利用世帯数	延除雪回数	事業所数	備 考
本 所	810世帯	2,323回	12事業所	1町内会含む
端 野	25世帯	73回	1事業所	
常 呂	42世帯	263回	9事業所	1事業所8町内会
留辺蘂	92世帯	205回	3事業所	2自治会含む
合 計	969世帯	2,864回	25事業所	

(5) 寝具乾燥サービス事業

登録世帯数：6世帯（実利用世帯：6世帯） 延利用品目：115品

(6) 訪問理美容事業

区 分	総利用数	理 容	美 容	新 規	廃 止
本所（端野・留辺蘂含む）	192人	86人	106人	9人	20人

(7) ひとり暮らし高齢者世帯等除雪地域活動支援・普及事業（除雪機貸与）

区 分	町内会数	対象世帯数	延運転日数	総除雪回数	新規貸与
本 所	30町内会	337世帯	312日	3,681回	1町内会
留辺蘂	1町内会	10世帯	6日	60回	—
合 計	31町内会	347世帯	318日	3,741回	1町内会

13. 重度身体障がい者等移送サービス事業

(1) リフト付きバス送迎サービス事業の推進（本所・常呂支所）

区 分	運行日数	利用回数	延利用者数	備 考
本 所	150 日	590 回	2,276 人	重度身体障がい者等対象
常 呂	157 日	157 回	295 人	人工透析患者対象

(2) 安全・安心の移送サービス業務のための講習会・連絡会議の開催

区 分	事 業 名	開 催 年 月 日	場 所	参加者
本 所	運転手職員連絡会議	令和 2 年 1 月 16 日	総合福祉会館	8 人
	冬道実技運転講習会	令和 2 年 1 月 28 日・30 日	野付牛自動車学校	6 人
常 呂	移送サービス研修会	令和 元年 12 月 5 日	老人いこいの家	4 人

14. 障がい者社会参加促進事業（芸術・文化講座）

(1) 障がい者の社会参加促進を図るため、芸術・文化講座の実施

教 室 名	実 施 期 間	回数	講師名	延参加者
民 謡 教 室	平成 31 年 4 月 18 日～令和元年 8 月 1 日	15 回	片 山 フ ェ 氏	103 人
ソーイング教室	平成 31 年 4 月 12 日～令和元年 7 月 26 日	15 回	後 藤 さだ子 氏	164 人
歌 謡 教 室	前期：平成 31 年 4 月 9 日～令和元年 6 月 18 日	10 回	川 野 廣 光 氏	365 人
	後期：令和元年 9 月 3 日～11 月 12 日	10 回		
水 泳 教 室	身体：平成 31 年 4 月 8 日～9 月 30 日	15 回	北 見 市 体 育 協 会	138 人
	視力：令和元年 8 月 9 日～9 月 30 日	5 回		
詩 吟 教 室	令和元年 8 月 8 日～11 月 21 日	15 回	鈴 木 洋 子 氏	110 人
革 工 芸 教 室	令和元年 8 月 2 日～11 月 1 日	13 回	志 賀 久美子 氏	132 人
笑 ヨ ガ 教 室	令和元年 10 月 28 日～令和 2 年 2 月 17 日	13 回	森 実 敬 子 氏	142 人
絵 手 紙 教 室	令和元年 11 月 8 日～令和 2 年 2 月 21 日	14 回	絵 手 紙 ス マ イ ル	135 人
パソコン教室	前期：令和元年 11 月 26 日～12 月 5 日	9 回	捧 直 美 氏	45 人
	後期：令和 2 年 2 月 18 日～2 月 20 日			

※料理教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

15. コミュニケーション支援事業

(1) 点訳及び朗読奉仕員の養成講座の実施（本所）

講 座 名	実 施 期 間	回数	講師名	延参加者
点 訳 講 座	初級：令和元年 6 月 1 日～6 月 29 日	5 回	北 見 市 点 訳 赤 十 字 奉 仕 団	47 人
	中級：令和元年 7 月 6 日～8 月 3 日	5 回		
	上級：令和元年 8 月 10 日～9 月 14 日	5 回		
朗 読 講 座	令和元年 10 月 4 日～6 日	3 回	北 見 市 朗 読 赤 十 字 奉 仕 団	47 人

16. 常呂自治区通院バス運行事業

(1) 常呂自治区通院バス事業の実施（常呂支所）

延回数：92 回（毎週月・木曜日実施） 延利用者：1,279 人

17. 高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣事業（本所）

入居されている高齢者等が、安心して生活できるよう、生活援助員による「相談」「安否確認」などの援助を行いました。また、入居者や地域住民との相互交流や親睦を深めることを目的としたラジオ体操や交流会などを行いました。

(1) 入居者からの生活相談の対応 件数：1,721 件

(2) 訪問及び電話による安否確認の実施（朝・夕） 件数：13,449 件

(3) 生活困難時における一時的な家事援助の実施 件数：5 件

- (4) 緊急時の連絡体制の整備と緊急対応の実施 件数：8 件
 (5) 地域とのコミュニティづくりを目的とする団らん室の活用：随時
 (6) 入居者への各種講座や交流会の開催

事業内容	回数	延参加者
ラジオ体操	週 5 回（月曜日から金曜日）	874 人
麻雀	週 4 回（月、火、水、金曜日）	439 人
囲碁	週 1 回（火曜日）	148 人

- (7) 高齢者生活相談所の管理
 (8) 関係機関・サービス事業所等との連携

18. 地域包括支援センター事業

- (1) 介護予防ケアマネジメント業務の推進

業務内容	北部	常呂	留辺蘂・温根湯温泉	合計
基本チェックリストによる二次予防高齢者の把握	26 人	4 人	31 人	61 人
利用者の希望を最大限に活かした介護予防プランの作成と評価	914 人	693 人	1,151 人	2,758 人
介護予防プラン作成にかかる業務の一部委託	1,660 人	25 人	84 人	1,769 人
介護保険の要介護認定調査	73 人	71 人	68 人	212 人

①介護予防事業活用状況確認と効果の評価：随時

②状態の維持及び改善にかかる支援：随時

- (2) 総合相談・支援事業の推進

①総合相談の実施及び支援

業務内容	北部	常呂	留辺蘂・温根湯温泉	合計
総合相談の実施及び支援	564 人 延 2,740 人	174 人 延 489 人	215 人 延 693 人	953 人 延 3,922 人

②地域資源を活用したネットワークの構築

会議名	回数	北部	常呂	留辺蘂・温根湯温泉	合計
地域ケアネットワーク会議	回数 参加者	2 回 27 人	— —	2 回 31 人	4 回 58 人
地域ケア個別会議	回数	13 回	4 回	1 回	18 回

③地域住民等に対する啓発活動の推進

事業名	事業所	内容等
地域行事における 広報活動	北部	1. 高栄フェスティバル 時：令和元年 8 月 2 日 於：高栄小学校グラウンド 内容：昔遊び、工作 参加者：約 1,000 人 2. 地域ふれあい昼食会 時：令和元年 11 月 17 日 於：高栄地区住民センター 内容：食を通じて単身高齢者等と地域住民との交流を図る 参加者：57 人
老人クラブ等における 広報活動	北部	時：令和元年 7 月 30 日～12 月 23 日 回数：5 回 内容：センターの周知、講話、広報誌等の配布等 訪問先：①高栄西町クラブ②もみじ橋老人クラブ 2 回 ③上仁頃老人クラブ④花月老人クラブ
	常呂	時：令和元年 6 月 21 日～令和 2 年 2 月 17 日 回数：9 回 内容：センターの周知、講話、広報誌等の配布等 訪問先：①日吉遊楽会②西町あかしやクラブ③老連常呂支部 ④弁天シニアクラブ⑤開進町ひまわりクラブ ⑥栄町しょうわ会⑦元気クラブ ⑧富丘老人クラブ⑨共立わかばクラブ

	留辺蘂・温根湯温泉	時：令和元年6月～9月 内容：センターの周知、講話、広報誌等の配布等 訪問先：①笑うつつじ会②もとまち茶話会③栄町2自治会④笑顔の会
いきいきふれあいの集い等における広報活動	留辺蘂・温根湯温泉	時：令和元年11月7日～令和元年12月5日 於：5会場で実施 内容：センターの周知、消費被害防止に関する講話・運動指導等
	留辺蘂・温根湯温泉	時：令和元年12月7日 於：留辺蘂町公民館 来場者：450人 内容：第30回ふれあい広場るべしべ「芸能交流会」において包括PRブースを設置

④担当地域内に居住する高齢者に対する支援体制の構築

1. 北部地区：「支援カード」の配置・更新 利用者数：117人
2. 常呂地区：「あんしんカード」の活用 利用者数：126人

⑤地域の高齢者実態把握調査の実施

業 務 内 容	北 部	常 呂	留辺蘂・温根湯温泉	合 計
地域の高齢者実態把握調査	243人	45人	96人	384人

⑥保健・福祉サービスにかかる各種申請の受付及び代行

⑦福祉サービスにかかる利用計画書の作成：随時

(3) 権利擁護事業の推進

①総合相談の実施及び支援

業 務 内 容		北 部	常 呂	留辺蘂・温根湯温泉	合 計
総合相談の実施及び支援	人 数	9 人	4 人	3 人	16 人
	延件数	延 15 件	延 5 件	延 4 件	延 24 件

②高齢者の虐待予防・早期発見及び成年後見人等権利擁護の啓発：随時

③地域見守り・支援体制による予防並びに早期発見と支援：随時

④消費者被害防止にかかる必要情報の収集と提供：随時

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務の推進

①地域包括ケアシステムの構築にかかる地域ケア会議の推進

※地域ケアネットワーク会議（前頁（2）②同様）

②包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築における関係機関との連携

1. 北部地区

7. 多職種連携研修会

時：令和元年8月9日 於：総合福祉会館 参加者：29人

2. 常呂地区

7. 常呂地区医療・介護連携推進会議

時：令和元年5月29日～令和2年1月15日 回数：5回 於：常呂厚生病院

4. 常呂自治区福祉事業所連絡会議

時：令和元年6月21日 於：常呂町総合在宅ケアセンター

③介護支援専門員の課題等に対するアドバイス並びに具体的支援

業 務 内 容	北 部	常 呂	留辺蘂・温根湯温泉	合 計
居宅介護支援事業所等巡回訪問	6事業所	2事業所	3事業所	11事業所

④支援困難ケース等の支援：随時

(5) 介護予防教室、家族介護教室、家族介護者交流会の実施

事 業 名	事業所	内 容 等
介護予防教室	北 部	内容：介護予防講話・体力測定・ふまねっとなど 時：令和元年7月2日～8月19日 回数：3回 於：美山地区住民センター、シルバーハウジング団らん室、高栄地区住民センター 延参加者：33人 時：令和2年1月22日～2月12日 回数：4回 於：上仁頃住民センター 延参加者：44人
	留辺蘂・温根湯温泉	内容：るべしべ筋力向上教室 時：令和元年11月27日～令和2年2月12日 回数：11回

		於：はあとふるプラザ 延参加者：129 人				
家族介護教室	北 部	内容：腰痛予防講話、体操「正しい介助の方法と腰痛予防の体操について」 時：令和元年10月10日 於：高栄地区住民センター 参加者：15 人				
	常 呂	内容：講話「介護が楽になる！介助の方法と福祉用具」 時：令和2年2月28日 於：老人いこいの家 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
	留辺蘂・温根湯温泉	内容：講話・実技身体にやさしい介護技術を習得しよう 時：令和2年2月19日 於：はあとふるプラザ 参加者：7 人				
家族介護者交流会 (兼オレンジカフェ)	北 部	内容：パンケーキ作りを通じた交流、オレンジカフェの紹介 時：令和2年12月17日 於：ゆうゆうぼたん園 参加者：17 人				
	常 呂	内容：茶話等 時：令和元年6月13日～令和2年1月16日 回数：5 回 於：老人いこいの家 延参加者：16 人				
		内容：「オレンジカフェところ」認知症講話、脳トレ、茶話 時：令和元年11月8日 於：カフェしゃべりたい 参加者：13 人				
		内容：講話「認知症介護とのつきあい方」 時：令和2年3月12日 於：老人いこいの家 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
	留辺蘂・温根湯温泉	内容：ミニ講話「口腔ケア」、オレンジカフェについて 時：令和2年3月18日 於：はあとふるプラザ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
ふまねっと体験会・練習会	常 呂	内容：講話、体操、ふまねっと運動 時：令和元年7月23日～令和2年2月20日 回数：13 回 於：老人いこいの家、多目的研修センター 延参加者 324 人 ※社協、老連と共催				
いこい茶房	常 呂	内容：講話、体操、脳トレ、茶話等 時：令和元年5月24日～令和2年2月13日 回数：10 回 於：老人いこいの家 延参加者 171 人				
講師・講話の対応	北 部	6 回	常 呂	12 回	留辺蘂・温根湯温泉	8 回

(6) 多職種連携によるネットワークの構築：随時

(7) 生活支援体制整備事業の推進

①北部地区

1. 支え合いの地域づくり会議（第2層協議体）の開催

時：令和元年5月24日～12月15日 回数：4 回 延参加者：66 人

2. 先進地視察

時：令和元年5月26日 於：釧路市 参加者：11 人

②常呂地区

1. 常呂自治区支え合い地域づくり会議（第2層協議体）の開催

時：令和元年5月10日～令和2年2月5日 回数：5 回 延参加者：78 人

③留辺蘂・温根湯温泉地区

1. 第1回留辺蘂自治区地域づくりネットワーク会議開催（第2層協議体）の開催

時：令和元年6月26日 於：はあとふるプラザ A・B会議室 参加者：19 人

2. 第2回留辺蘂自治区地域づくりネットワーク会議開催（第2層協議体）の開催

時：令和元年9月25日 於：はあとふるプラザ A・B会議室 参加者：12 人

(8) 認知症総合支援事業の推進

①認知症に関する相談支援、実施体制の構築

	北 部	常 呂	留辺蘂・温根湯温泉	合 計
相談件数	132 人	91 人	56 人	279 人

②認知症サポーター養成講座の開催

事業所名	開催年月日	場 所	延参加者数
北 部	令和元年 9 月 13 日 令和 2 年 2 月 21 日	こもれびの里緑ヶ丘 聖光寺（仁頃町）	38 人
常 呂	令和元年 9 月 19 日	老人いこいの家	9 人
留辺蘂・温根湯温泉	令和元年 7 月 9 日	留辺蘂郵便局	9 人
	令和元年 8 月 27 日	留辺蘂高校	5 人
	令和元年 9 月 12 日	留辺蘂高校	37 人
	令和 2 年 1 月 28 日	はあとふるプラザ	29 人

③行方不明者捜索模擬訓練の開催

事業所名	開催年月日	場 所	延参加者数
北 部	令和元年 9 月 13 日	こもれびの里緑ヶ丘	21 人
常 呂	令和元年 9 月 19 日	老人いこいの家	9 人
留辺蘂・温根湯温泉	令和元年 9 月 12 日	留辺蘂高校	37 人

(9) 認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応の推進

	北 部	常 呂	留辺蘂・温根湯温泉	合 計
対応ケース	1 人	2 人	1 人	4 人

(10) 職員の各種研修会への参加

研 修 会 名 等	北 部	常 呂	留辺蘂・温根湯温泉
地域包括支援センター連絡会議等	16 回	38 回	36 回
居宅介護支援事業所等連絡会議	1 回	1 回	1 回
介護保険制度及び介護保険事業にかかる説明会等	1 回	1 回	4 回
地域包括支援センター職員研修会他	1 回	1 回	4 回
成年後見制度、権利擁護関連研修会	3 回	6 回	4 回
認知症関連研修会	2 回	3 回	4 回
多職種事例検討会	1 回	—	—
北海道介護支援専門員 更新研修他	1 回	7 回	4 回
その他、医療・保健・福祉に関する研修会	9 回	8 回	8 回

(11) 地域密着型運営推進会議への参加

事業所名	事業所数	回 数
北 部	6 事業所	15 回
常 呂	2 事業所	6 回
留辺蘂・温根湯温泉	4 事業所	18 回

(12) 地域包括支援センター（高齢者相談支援センター）に関する広報活動

事業所名	広報紙発行回数	その他広報活動回数
北 部	3 回	134 回
常 呂	5 回	342 回
留辺蘂・温根湯温泉	4 回	23 回

(13) 関係機関・団体・サービス事業所との連携

	北 部	常 呂	留辺蘂・温根湯温泉	合 計
連携回数	152 回	60 回	44 回	256 回

19. 端野地区在宅介護支援センター事業

- (1) 地域の高齢者実態把握活動及び相談・支援：随時
- (2) 保健・福祉サービスの情報提供及び啓発：随時
- (3) 各種研修会や地域包括ケア会議への参加：随時
- (4) 東部・端野地区地域包括支援センター及び他事業所等との連携：随時

20. その他の事業

- (1) 広報活動の推進

①社協だよりの発行

区 分	種 別	回数	備 考
本 所	全市版	3 回	第 54 号(5 月号)～第 56 号 (1 月号)
端 野	地域版	3 回	第 44 号(8 月号)～46 号 (3 月号)
常 呂	地域版	6 回	第 183 号(4 月号)～第 188 号(2 月号)
留辺蘂	地域版	2 回	第 37 号(5 月号)～第 38 号 (12 月号)

②ホームページ・フェイスブックページ等による情報発信

支所・係名	フェイスブッ ク掲載回数	支所・係名	フェイスブッ ク掲載回数
本 所 ・ 総 務 係	10 回	北部地区地域包括支援センター	8 回
本 所 ・ 地 域 福 祉 係	13 回	端 野 支 所	2 回
本 所 ・ ボ ラ ン テ ィ ア 係	27 回	常 呂 支 所	14 回
本所・生活支援係・権利擁護係	25 回	留 辺 蘂 支 所	3 回
合 計			102 回

③必要に応じた北見市広報への寄稿対応（留辺蘂支所）

寄稿回数：12 回 内容：寄付者の掲載、社協事業周知等

- (2) 自主財源造成事業（本所・常呂支所）

①「ふれあいの夕べ」への協力（本所）

時：令和元年 6 月 28 日 於：経済センター 来場者：1,639 人 寄付金額：1,862,928 円

②「ふれあいパーティー」への協力（常呂支所）

時：令和元年 7 月 19 日 於：多目的研修センター 来場者：341 人 寄付金額：37,895 円

- (3) 共同募金運動への積極的な協力：随時

- (4) 福祉団体実施事業に対する援助・協力

区 分	福 祉 団 体 名	団体数
本 所	北見市民生委員児童委員協議会・北見市北見自治会連合会・北見市心身障害者(児)団体連合会・北見市福祉の街づくり会議・北見ろうあ福祉協会・北見視力障害者福祉協会・北見市手をつなぐ育成会・北見市リハビリ友の会・北見市老人クラブ連合会北見支部・北見市おもちゃライブラリーの会・北見市女性保護の会・北見手話の会・北見市点訳赤十字奉仕団・北見市朗読赤十字奉仕団・北見市青年ボランティア連盟・北見BBS会・V14会「かでる」・クリエイティブワーク・夢現の会・北見市認知症の人と家族の会・きたみ地域子ども会育成連絡協議会・北見母子会・ミントマジシャンズクラブ・視覚障がい者「おしゃべりの集い」・オホーツク失語症さわやか友の会・だんだん菜園・あそぼっと・ふれあいキッチン・スマイル@カレッジ・サークルともしび	30 団体
端 野	北見市遺族会端野支部・北見身体障害者福祉協会端野支部・北見市老人クラブ連合会端野支部・たんの子ども会育成連絡協議会・スマイルたんの	5 団体
常 呂	北見市遺族会常呂支部・北見市老人クラブ連合会常呂支部	2 団体
留辺蘂	留辺蘂町母子寡婦会・留辺蘂ボランティアすみれ会・るべし子ども会育成会連絡協議会	3 団体

(5) 福祉団体事務・事業への協力

区 分	福 祉 団 体 名	団体数
本 所	北見市共同募金委員会・北見市共同募金委員会北見地区委員会	2 団体
端 野	北見市共同募金委員会端野地区委員会・北見市遺族会端野支部・北見身体障害者福祉協会端野支部・北見市老人クラブ連合会端野支部・たんの子ども会育成連絡協議会	5 団体
常 呂	北見市共同募金委員会常呂地区委員会・北見市遺族会常呂支部・北見市老人クラブ連合会常呂支部	3 団体
留辺蘂	北見市共同募金委員会留辺蘂地区委員会・北見市遺族会留辺蘂支部・北見市老人クラブ連合会留辺蘂支部・北見地区保護司会留辺蘂分区	4 団体

(6) 備品貸出事業

区 分	貸 出 備 品 等	貸出件数
本 所	車椅子、レスキューキッチン、行事用テント、高齢者疑似体験セット他	88 件
端 野	車椅子	—
常 呂	電動ベッド、車椅子、浴槽台、行事用テント、トイレ用手すり他	31 件
留辺蘂	車椅子・行事用テント	27 件

※介護用具については介護保険非該当者の方に貸出

II. 生活支援事業

1. 応急援護資金貸付事業

低所得世帯等の緊急的な資金需要に対応するため必要な貸付を行いました。

また、自立支援センター（自立相談支援事業・家計改善支援事業）による関係機関等との連携や親族等の関係性を調整することなどを併行して進めることにより、困窮状態の解消と生活の安定に努めました。

(1) 応急援護資金の貸付

①生活資金貸付状況

(単位：件・円)

区 分	本 所		端野支所		常呂支所		留辺蘂支所	
	件数	貸付金額	件数	貸付金額	件数	貸付金額	件数	貸付金額
R1 実績	31	539,000	1	20,000	0	0	4	65,000
H30 実績	93	1,471,000	0	0	2	33,000	1	10,000

②滞納世帯実態調査：随時実施

2. 生活福祉資金貸付事業

一時的に生活費が不足するなど生活に困窮する世帯等からの相談をお受けし、生活福祉資金貸付事業の申請受付業務をととして低所得者や高齢者、障がい者等の生活を経済的に支えとともに、困窮状態からの脱却や自立に資するよう、民生委員や本会が行う自立支援センターとの連携により、生活上のさまざまな課題を抱えた方に対する包括的、かつ継続的な相談支援に努めました。

また、子どもの上級学校等への進学に際し、経済的事由により進学を断念することが無いよう、適切な教育支援資金の貸付相談及び申請に努めました。

(1) 生活福祉資金の受付

①資金別貸付状況

資金種別	福祉資金		教育支援資金		合 計
	福祉費	緊急小口	教育支援費	就学支度費	
R1 貸付件数	3 件	2 件	12 件	9 件	26 件
H30 貸付件数	6 件	4 件	14 件	11 件	35 件

②特例貸付状況（令和2年3月25日から開始）

資金種別	緊急小口資金	総合支援資金（生活支援費）	合 計
貸付件数	36 件	0 件	36 件

③滞納世帯実態調査：随時

(2) 会議・研修会への参加

No.	研 修 事 業 名	開 催 年 月 日	開催地	出席者
1	生活福祉資金貸付事業研修会(新任研修)	令和元年6月27日～28日	札幌市	1人
2	財務局 債務勉強会	令和元年9月19日	北見市	1人
3	生活福祉資金貸付事業研修会	令和元年10月25日	札幌市	1人

(3) 関係機関との連携強化

開 催 年 月 日	講 座 内 容	開 催 場 所	出席者
令和元年6月6日	第6 民児協勉強会 「生活福祉資金貸付制度・民生委員の支援について」	市民会館	25人
令和元年9月13日	北見市子ども未来部子ども支援課 「生活福祉資金貸付制度・母子寡婦福祉資金相談との調整」	まちきた大通りビル	7人
令和2年2月13日	第3 民児協勉強会 「生活福祉資金貸付制度・民生委員の支援について」	総合福祉会館	13人

3. 安心サポート事業

北海道社会福祉協議会へ事業実施の進捗状況や事業に参加している道内社会福祉協議会から情報収集を行うなど、事業実施に向けた法人内部の体制整備や準備に努めました。

(1) 安心サポート事業参加法人との連携、情報の共有

4. 相談事業

(1) 福祉総合相談事業の実施（心配ごと相談） ※5. 自立支援センター事業の相談実績に一括計上

5. 自立支援センター事業

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本会が行う応急援護資金や生活福祉資金貸付事業、また、ハローワークや就労準備支援事業所、学習支援事業所など関係機関との連携を図りながら、本人や世帯の状況に応じた相談支援に努めました。また、訪問や同行支援を積極的に行い、必要な支援機関や制度に円滑に繋がるよう努めました。

(1) 生活困窮にかかる総合相談事業

①相談件数

(単位：件)

	電話	来所	訪問	メール	合計
相談件数【新規】					
R1	194	60	1	1	256
H30	135	40	2		177
相談件数【のべ】					
R1	1,420	239	396	16	2,071
H30	1,097	226	310		1,633

②年代・性別内訳（新規相談）

（単位：人）

	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男性									
R1	0	2	12	12	19	12	11	47	115
H30	0	9	9	13	19	12	13	13	88
女性									
R1	1	3	11	18	17	15	10	66	141
H30	1	3	16	8	11	10	15	25	89
合計									
R1	1	5	23	30	36	27	21	113	256
H30	1	12	25	21	30	22	28	38	177

③相談に至る経緯

（単位：人）

	広報誌 (社協)	広報誌 (社協以外)	関係機関 からの紹介	知人や家族 からの紹介	インター ネット	その他	合 計
R1	12	3	57	6	16	162	256
H30	9	3	64	12	16	73	177

※センターをどのような経緯で知ったかについて確認に行きつかなかった場合は、その他に計上

④相談内容（相談内容は重複しています）

（単位：件）

相談内容	R1	H30	相談内容	R1	H30	相談内容	R1	H30
病気・健康・障がい	33	19	仕事探し・就職	40	31	ひきこもり・不登校	11	12
住まい	23	27	仕事上の不安やトラブル	3	6	DV・虐待	2	1
収入・生活費	144	81	地域との関係	1	5	食べるものがない	7	7
家賃・ローン支払	49	24	家族との関係	24	10	その他	118	76
税金・公共料金支払	45	34	子育て	2	2			
債 務	25	25	介 護	9	8	合 計	536	368

⑤支援プラン策定状況

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R1計	H30計
支援プラン作成件数	5	3	3	3	2	6	1	1	6	4	3	4	41	49
支援プラン内容内訳（複含有）	住居確保給付金	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4	0
	家計相談支援事業	3	1	1	1	0	3	0	1	2	1	1	16	22
	就労準備支援事業	2	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	6	5
	自立相談支援事業による就労支援	0	1	2	2	1	1	0	0	4	2	2	17	6
	学習支援支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	16
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0
	生活福祉資金等による貸付	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	6	5

(2) ケース検討会議・支援調整会議の開催

開催年月日	ケース検討会議			支援調整会議			参 加 者
	ケース検討内容（件）			プラン検討内容（件）			
	新規	継続	終了	新規	更新	評価	
平成 31 年 4 月 24 日	3	17	13	5	3	1	北見市保健福祉部保護課 北見市自立支援センター NPO 法人ワークフェア
令和元年 5 月 28 日	6	19	19	3	3	3	
令和元年 6 月 26 日	2	24	17	3	1	3	
令和元年 7 月 30 日	2	19	23	3	3	3	
令和元年 8 月 27 日	0	17	20	2	2	4	

令和元年 9 月 26 日	8	15	11	6	2	5	若者サポートステーション
令和元年 10 月 29 日	3	19	10	1	1	0	
令和元年 11 月 27 日	2	19	17	1	1	4	
令和元年 12 月 25 日	8	18	16	6	3	9	
令和 2 年 1 月 28 日	8	18	16	4	3	9	
令和 2 年 2 月 28 日	5	21	14	3	1	1	コロナウイルス感染症拡大 防止のため北見市への書類 提出のみ
令和 2 年 3 月 25 日	2	30	17	4	1	4	
R1 計	49	236	193	41	24	46	
H30 計	39	164	144	25	24	40	

(3) 関係機関との連携強化及び新たなネットワークの構築

①協議体・会議・研修会への参加

開催年月日	内 容	場 所	出席者
平成 31 年 4 月 18 日	警備会社と求人打合せ	総合福祉会館	1 人
令和元年 5 月 9 日	司法・福祉勉強会	総合福祉会館	1 人
令和元年 6 月 3 日	AEON 就労担当者打合せ	AEON 北見店	1 人
令和元年 6 月 24 日	北見市地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	北見地方合同庁舎	1 人
令和元年 6 月 26 日	オホーツクメンタルヘルス懇話会	中央地区住民センター	1 人
令和元年 6 月 29 日	ワークフェア まったりゲーム会	オホーツク若者サポートステーション	2 人
令和元年 7 月 30 日	市民後見人養成研修 講師打合せ	総合福祉会館	1 人
令和元年 8 月 5 日	ひきこもり支援研修会（紋別市） 講師：北海道ひきこもり成年相談センター	紋別市総合福祉センター	2 人
令和元年 8 月 7 日	オホーツク相談支援連絡会議研修会 「ストレングスをいかした個人・家族への支援」 講師：札幌学院大学 横山登志子氏	北見芸術文化ホール	1 人
令和元年 8 月 30 日	保護課内部研修 ひきこもり支援事例検討 講師：北海道ひきこもり成年相談センター	まちきた大通りビル	2 人
令和元年 9 月 19 日	財務局 債務勉強会	北見保健所	1 人
令和元年 10 月 12 日 ～13 日	KHJ 全国大会 in 北海道 ～KHJ 全国ひきこもり家族会連合会・実践交流研修会～	北海道立道民活動センター	1 人
令和元年 10 月 13 日	北星学園大学社会福祉学部 シンポジウム・交流会 「北海道における生活困窮者の課題」	北星学園大学	1 人
令和元年 10 月 23 日	オホーツク管内生活困窮者自立支援事業 担当者研修会「こころのサポーター研修」 講師：オホーツク総合振興局保健師	網走市総合福祉センター	1 人

②法テラス釧路無料法律相談会（生活・仕事相談）

時：令和元年 9 月 12 日 於：まちきた大通ビル 相談者：0 人

※法テラス釧路、北見市自立支援センター、オホーツク相談支援センターふくろうとの共催

(4) 生活困窮者自立支援制度の普及・啓発

No.	研 修 事 業 名 等 ・ 開 催 年 月 日 等
1	社協だより(5月号)への掲載 自立支援センターについて
2	北見市民生委員児童委員協議会 第6民児協定例会 内容：生活困窮者相談窓口について、北見市自立支援センターのチラシを配布 時：令和元年 6 月 6 日 於：市民会館 参加者：25 人
3	北見市広報 8 月号へのチラシ折込（法テラス無料法律相談会、生活・仕事相談共催案内）
4	令和元年度 支え合いの地域づくりフォーラム（自立支援フォーラム）

	～孤立する人を知り、理解し一人ひとりのその人らしい生き方を考える～ 内容：当市における生活困窮者支援や支え合う地域づくりの必要性について 時：令和元年 11 月 23 日 於：ホテル黒部 参加者：184 人 講師：国立大学法人一橋大学 大学院社会学研究科教授 猪飼 周平氏
5	北見市広報 12 月号 センターパンフレット折込 (留辺蘂：3,200 部、常呂：1,550 部、端野：1,850 部)
6	ひきこもり支援のための事例検討会 ～「本人像」に迫る事例検討から、ひきこもり支援について考える～ 内容：野中式事例検討 「ひきこもり支援のための事例検討会」 時：令和 2 年 2 月 2 日 於：総合福祉会館 参加者：23 人 講師：社会福祉法人あむ 大久保 薫 氏
7	北見市民生委員児童委員協議会 第 4 民児協例会 内容：生活困窮者相談窓口、北見市自立支援センターのチラシ配布 時：令和 2 年 2 月 13 日 於：総合福祉会館 参加者：13 人

※その他、社協ホームページ、フェイスブックによる周知

(5) オホーツク管内自立相談支援機関との連携

①オホーツク管内生活困窮者自立相談支援事業担当者意見交換会の開催及び広域連携

参加機関：網走市社会福祉協議会生活サポートセンターらいと、紋別市社会福祉協議会、紋別市生活自立支援サポートセンター、NPO法人ワークフェアオホーツク相談センターふくろう（オホーツク管内 15 町村を所管）、北見市自立支援センター

②意見交換会の開催

No.	内 容 ・ 開 催 年 月 日 等
1	事業報告及び意見交換（相談実績・傾向、ひきこもり相談状況・支援体制について） 時：令和元年 7 月 23 日 於：網走市社会福祉協議会
2	令和元年度 オホーツク管内生活困窮者自立支援事業担当者研修会 「こころのサポーター研修」（講師：オホーツク総合振興局保健師） 時：令和元年 10 月 23 日 於：網走市社会福祉協議会

※オホーツク管内移住者の情報共有及び支援引継：随時対応

③就労困難者に対する支援の実施：随時実施

④民間職業紹介事業者との連携：随時実施

6. 法人後見事業

(1) 法人後見の受任（新規分 4 件）

No.	対 象 者	区分	審判確定日	備 考
1	70 代 男性（高齢）	後見	令和元年 6 月 21 日	
2	70 代 男性（高齢）	保佐	令和元年 7 月 27 日	専門職（弁護士）からのリレー
3	60 代 女性（障害）	後見	令和元年 8 月 7 日	専門職（弁護士）からのリレー
4	60 代 男性（障害）	保佐	令和元年 8 月 10 日	

※平成 31 年度当初 28 件＋新規 4 件－死亡 3 件＝29 件 平成 31 年度末 29 件受任継続

【受任内訳】

申立者	件 数
親 族	11 件
本 人	4 件
後見人	2 件
市 長	12 件
計	29 件

類 型	件 数
後 見	21 件
保 佐	7 件
補 助	1 件
計	29 件

所 在	件 数
施 設	26 件
病 院	1 件
在 宅	2 件
計	29 件

年 代	件 数
50 歳	1 件
60 歳	4 件
70 歳	12 件
80 歳	10 件
90 歳	2 件
計	29 件

(2) 法人後見支援員の登録と活動支援

①法人後見支援員登録者数：48 人

②活動者数：24人（重複受任あり）

・月1回～3回、1回につき30分～1時間程度の訪問支援を行っている。

7. 成年後見支援センター事業

（1）成年後見制度に係る相談及び支援

①相談実績

相談方法	H30 件数	H31 件数
来 所	16 件	33 件
電 話	22 件	54 件
計	38 件	87 件

相談者	H30 件数	H31 件数
本人・親族	19 件	34 件
福祉関係機関	14 件	27 件
病院・金融機関	3 件	7 件
市役所・家裁	2 件	19 件
計	38 件	87 件

相談内容 (重複あり)	H30 件数	H31 件数
後見制度全般	17 件	85 件
申立に関すること	168 件	291 件
身上監護	238 件	370 件
財産管理	207 件	270 件
ケース調整	109 件	130 件
その他	267 件	567 件
計	1,006 件	1,713 件

（2）成年後見制度の普及啓発

①研修会の開催

年月日・場所	内 容	講 師／対 応	参加人数
令和元年7月24日 北見信用金庫本店	北見信用金庫職員向け研修会 成年後見制度利用促進に向けて ～相談傾向を踏まえた窓口の明確化を中心に～	センター職員	10人 (他全支店テレビ電話による受講)
令和元年10月10日 老人いこいの家	常呂圏域医療・福祉・介護事業所等権利擁護研修会 「契約の意味と利用者、支援者を守るための取り組みを考える」	ともざわ法律事務所 弁護士 友澤太郎氏	23人
令和元年10月24日 総合福祉会館	市内金融機関職員を対象とした 「成年後見制度に関する研修会」 ・成年後見制度の概要と北見市における制度利用状況 ・成年後見制度が必要とされる生活場面 ・成年後見支援センターの機能と役割について	釧路家庭裁判所北見支部 主任家庭裁判所書記官 相原慰徳氏 ともざわ法律事務所 弁護士 友澤太郎氏 センター職員	48人
令和元年11月23日 市民会館	公益社団法人北海道柔道整復師会 北見ブロック学術講演会 「成年後見制度について」	センター職員	47人
令和2年2月18日 常呂町公民館	常呂町民のための「老いをより良く生きる」講座 ～安心した老後への備えについて～ 1. 「老後と不動産相続」 ～超高齢社会の相続を考える～ 2. 元気なうちに準備しておきたい「終活と後見の話」	税理士法人北海道みらい オホーツク事務所 所長税理士 江澤昭氏 行政書士 AOKI 事務所 行政書士 青木伸生氏	46人

②ネットワーク懇話会の開催

年月日・場所	講 義 内 容	講 師	参加人数
令和元年5月14日 総合福祉会館	権利擁護制度に関わる機関の現状と役割 ①北見地域介護支援専門員連絡協議会の活動 ②障がい者相談支援センターの取り組み ③グループワーク	北見地域介護支援専門員 連絡協議会代表 武田学氏 サポートネット北見 センター長 伊藤暢彦氏	28人
令和元年9月26日 総合福祉会館	①家庭裁判所における調査官の役割 ②「新しい診断書」「本人情報シート」導入の背景について ③調査官が期待する「本人情報シート」に記入してほしい視点	釧路家庭裁判所北見支部 主任家庭裁判所調査官 田中光史氏	50人

	④グループワーク		
令和元年 11 月 27 日 総合福祉会館	①成年後見制度利用促進に向けた家庭裁判所の役割について ②全国における中核機関設置とその取り組み状況及び地域連携ネットワークの必要性について ③グループワーク	釧路家庭裁判所北見支部 裁判官 安木進氏 東京大学教育学研究科 特任専門職員 東啓二氏	43 人

③周知・発信

【フェイスブックページへの掲載】

	掲 載 日	内 容
1	令和元年 5 月 9 日	令和元年度 第 4 期 北見市民後見人養成研修のご案内
2	令和元年 5 月 14 日	成年後見制度に関する無料相談
3	令和元年 6 月 4 日	北見市市権利擁護支援ネットワーク懇話会
4	令和元年 6 月 10 日	令和元年度 第 4 期 北見市市民後見人養成研修講師陣打合せ
5	令和元年 8 月 20 日	北見市市民後見人養成研修 ①開講されました
6	令和元年 8 月 30 日	北見市市民後見人養成研修 ②報告
7	令和元年 8 月 30 日	北見市市民後見人養成研修 ③報告
8	令和元年 9 月 4 日	北見市市民後見人養成研修 ④報告
9	令和元年 9 月 4 日	北見市市民後見人養成研修 ⑤報告
10	令和元年 9 月 5 日	権利擁護支援ネットワーク ニュースレター第 4 号の発行
11	令和元年 9 月 12 日	北見市市民後見人養成研修 ⑥報告
12	令和元年 9 月 18 日	市民後見人フォローアップ研修 第 1 講
13	令和元年 9 月 27 日	北見市市民後見人養成研修 ⑦報告
14	令和元年 9 月 30 日	北見市市権利擁護支援ネットワーク懇話会
15	令和元年 10 月 1 日	北見市市民後見人養成研修 ⑧報告
16	令和元年 10 月 7 日	北見市市民後見人養成研修 ⑨報告
17	令和元年 10 月 9 日	北見市市民後見人養成研修 ⑩報告
18	令和元年 10 月 9 日	成年後見制度に関する無料相談
19	令和元年 11 月 1 日	市内金融機関職員を対象とした成年後見制度に関する研修会
20	令和元年 11 月 27 日	第 3 回オホーツク管内市民後見人活動交流会
21	令和元年 12 月 6 日	北見市権利擁護支援ネットワーク懇話会
22	令和 2 年 1 月 23 日	権利擁護支援ネットワーク ニュースレター第 5 号の発行
23	令和 2 年 1 月 30 日	常呂町民のための“老いをより良く生きる”講座の開催
24	令和 2 年 2 月 13 日	日常生活自立支援事業生活支援員研修会兼市民後見人フォローアップ研修
25	令和 2 年 2 月 19 日	成年後見制度に関する無料相談

【ホームページへの掲載】

	掲 載 日	内 容
1	令和元年 5 月 8 日	令和元年度『第 4 期 北見市民後見人養成研修 受講者募集！』
2	令和元年 5 月 14 日	成年後見制度に関する無料相談
3	令和元年 9 月 5 日	権利擁護支援ネットワーク ニュースレター第 4 号の発行
4	令和元年 10 月 3 日	成年後見制度に関する無料相談
5	令和 2 年 1 月 23 日	権利擁護支援ネットワーク ニュースレター第 5 号の発行
6	令和 2 年 1 月 30 日	常呂町民のための“老いをより良く生きる”講座の開催
7	令和 2 年 2 月 19 日	成年後見制度に関する無料相談
8	令和 2 年 2 月 19 日	成年後見制度に関するアンケート調査

- ④権利擁護支援ネットワークニュースレターの発行
- 第 4 号 令和元年 9 月 1 日
第 5 号 令和 2 年 1 月 1 日
第 6 号 令和 2 年 3 月 1 日

(3) 市民後見人の養成と活動支援

①活動支援（フォローアップ研修）

	年月日・場所	講義内容	講 師	参加人数
第1講	令和元年9月11日 日本赤十字北海道看護大学	高齢者が患いやすい病気と特徴～高血圧症、認知症編～	日本赤十字北海道看護大学 老年看護学教授 西方久美子氏	32人
第2講	令和元年11月15日 北見市民会館	I. 基調講演 「成年後見制度利用促進法と市民後見人の活動状況」 II. 受任報告会 「私のまちの支え合い～仲間の活動を聞いてみよう～」 ・北見市・津別町・美幌町 ・大空町（紋別市：後見センター開設報告） III. グループワーク 「私のなりたい後見人（像）」	北海道社会福祉協会 権利擁護課 成年後見制度推進バックアップセンター 朝倉 裕次氏 ともざわ法律事務所 友澤 太郎氏 社会福祉士会オホーツク地区支部 笹谷 貴志氏	72人 (内：北見市48人)
第3講	令和2年2月7日 総合福祉会館	I. 事業説明 「日常生活自立支援事業の概要について」 「生活支援員の業務と活動を行う上での留意点」 II・ケース報告 III・講話 「理解や表現が十分ではない利用者の生活状況や想いを把握するポイント！」	センター職員 自立生活支援員 社会福祉法人あむ 南9条通サポートセンター 所長 大久保 薫氏	40人

②市民後見人養成研修

	開催年月日	講義内容	講 師	参加人数
第1講	令和元年8月19日	養成研修第1回目 「開校式」 「受講生スピーチ」 「地域福祉Ⅰ」	北見市長 辻 直孝氏 社会福祉協議会会長 渡部 眞一 社会福祉協議会 生活支援課長	27人
第2講	令和元年8月23日	成年後見概論 権利擁護の理念Ⅰ	浦澤法律事務所 浦澤 佳弘氏 社会福祉士 大谷 綾子氏	27人
第3講	令和元年8月26日	財産法・家族法の基礎 市民後見概論	司法書士みどり法務事務所 辻 香澄氏 ともざわ法律事務所 友澤 太郎氏	27人
第4講	令和元年8月30日	関係制度Ⅰ 関係制度Ⅱ 関係制度Ⅲ	介護福祉課 笠川 大將氏 〃 齊藤 大氏 障がい福祉課 佐藤十四八氏 保護課 古河 信一氏	27人
第5講	令和元年9月2日	地域福祉Ⅱ 対象者理解Ⅰ 対象者理解Ⅱ	保健福祉部主幹 長尾 智美氏 北見赤十字病院 福島恵美子氏 特定非営利法人とむての森 弓山 祐子氏	27人

第6講	令和元年9月6日	対象者理解Ⅲ 地域福祉Ⅲ 対人援助の基礎	精神保健福祉士 岩間 孝介氏 介護支援専門員連絡協会 武田 学氏 社会福祉士 岡田 博之	27人
第7講	令和元年9月9日～ 9月27日	地域実習Ⅰ	グループホームふあみりあ グループホーム彩風 グループホームことぶき グループホーム和 グループホーム夢ふうせん美山 川東の里きたみ学園	26人
第8講	令和元年9月30日	権利擁護の理念Ⅱ 地域福祉Ⅳ 成年後見制度の実務	佐藤信孝法律事務所 佐藤 信孝氏 センター職員 センター職員	25人
第9講	令和元年10月4日	地域実習Ⅱ 後見活動の実際 グループワーク	釧路家庭裁判所北見支部 主任書記官 相原 慰徳氏 法人後見支援員 きたみ市民後見人の会 会長 神田 国昭氏 北海道社会福祉士会権利擁護セン ターぱあとなあ 笹谷 貴志氏	25人
第10講	令和元年10月7日	市民後見活動への期待 受講生スピーチ 修了式	ともざわ法律事務所 弁護士 友澤 太郎氏 北見市長 辻 直孝氏 社協副会長 岡田 栄敏	27人

※聴講生として、第1期～第3期市民後見人養成研修修了者2～6名参加

③市民後見人養成研修修了者による組織「きたみ市民後見人の会」活動への支援

実施日時	内 容	備 考	参加人数
令和元年6月4日	きたみ市民後見人の会 総会		11人
令和元年7月2日	第1回 意見交流会 勉強会	・ミント宅配便への登録について ・活動の在り方「見せる活動」 ※毎月第1火曜日を活動日とした 話題提供者 加藤 誠二氏 「後見支援預金」について	19人
令和元年8月6日	第2回 意見交流会 勉強会	話題提供者 神田 国昭氏 「法人後見人の一員としての活動」 について	10人
令和元年9月3日	第3回 意見交流会 勉強会	話題提供者 津田 和則氏 「成年被後見人の死亡後の許可申立 て」について	12人
令和元年8月19日～ 10月4日	第4期 北見市市民後 見人養成研修	各回において受付、準備、後片付け等 運営への支援	2～3人
令和元年10月1日	第4回 意見交流会 勉強会	ミント宅配便（市民編） 『認知症を病んでいる人たちの「こ ころ」、介護している私たちの「こ ころ」』 講師：武山 圭一氏	12人

令和元年 11 月 5 日	第 5 回 意見交流会 勉強会	ミント宅配便（行政編） 「高齢者の医療制度について」 講師：国保医療課 柴田光博氏	11 人
令和元年 12 月 3 日	第 6 回 意見交流会 勉強会	話題提供者 西本 章一氏 「サービス付き高齢者住宅について」	12 人
令和 2 年 1 月 7 日	第 7 回 意見交流会	・ミント宅配便登録について ・規約改正について ・フリートーク	13 人
令和 2 年 2 月 4 日	第 8 回 意見交流会 勉強会	ミント宅配便（市民編） 「心おだやかに生きる ～カウンセリング～」 講師：武山 圭一氏	12 人

※3月3日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした

(4) 市長申立に係る手続き支援

①申立支援 11 件（平成 31 年度：6 件 累計 52 件）

②申立準備件数 6 件

(5) 運営委員会及び審査検討会の開催

①北見市成年後見支援センター運営委員会

構成機関：釧路弁護士会、釧路司法書士会、北海道社会福祉士会オホーツク地区支部、北見市民生委員児童委員協議会、北見市地域包括支援センター連絡協議会、障がい者相談支援センター、北海道行政書士会網走支部、北見地域介護支援専門員連絡協議会、北見市

②審査検討会

構成機関：釧路弁護士会、釧路司法書士会、北海道社会福祉士会オホーツク地区支部、北見市地域包括支援センター連絡協議会、障がい者相談支援センター、北見市

③会議実施状況 実施場所：総合福祉会館

【運営委員会】

	開催年月日	議 題
第 1 回	令和元年 6 月 10 日	①北見市成年後見支援センター相談実績（H30 年度） ②令和元年度第 4 期市民後見人養成研修の開催について ③管内市民後見人活動交流会の開催について ④『成年後見制度に関する無料相談』の実施について ⑤平成 30 年度『成年後見制度の利用に関するアンケート調査』結果について ⑥『金融機関向け研修会』の開催について ⑦令和元年度市民後見人フォローアップ研修開催に向けて ⑧第 2 回権利擁護ネットワーク懇話会の開催に向けて その他：1) 成年後見制度利用促進に向けた北見市の方針について
第 2 回	令和元年 9 月 3 日	①北見市成年後見支援センター相談実績（4 月～7 月） ②令和元年度第 4 期市民後見人養成研修について ③成年後見制度に関する無料相談（専門職相談）について ④研修会開催に向けた金融機関への意向調査結果について ⑤金融機関職員を対象とした成年後見制度に関する研修会について ⑥第 1 回市民後見人フォローアップ研修について ⑦第 2 回権利擁護ネットワーク懇話会について ⑧常呂圏域権利擁護研修会について ⑨2019 年度北海道新聞社会福祉振興基金福祉公募助成の採択について その他：1) 成年後見支援センター審査検討会の運営方法について 2) 釧路家庭裁判所主催 家事関係機関との連絡協議会について

		3)池田町社協役職員・池田町町内会連動会先進地合同視察研修会の受入れについて
第3回	令和元年11月12日	①北見市成年後見支援センター相談実績（8月～9月） ②市内金融機関職員を対象とした成年後見制度に関する研修会について（報告、及び今後の事業展開への考え方について） ③令和元年度第4期市民後見人養成研修について ④常呂圏域における権利擁護の機運を高める取り組みについて（専門職向け権利擁護研修会開催報告、及び今後の展開について） ⑤市民後見人フォローアップ研修について（開催報告、及び第2回開催への考え方について） ⑥オホーツク管内市民後見人活動交流会について ⑦北見市権利擁護支援ネットワーク懇話会について（第2回開催報告、及び第3回開催への考え方について） ⑧『相談援助職の成年後見制度に関する理解度と相談援助過程における課題の明確化に向けたアンケート調査』について その他：1)道外視察研修について 2)高知市社会福祉協議会との交流について
第4回	令和2年2月4日	①北見市成年後見支援センター相談実績（10月～12月） ②オホーツク管内市民後見人活動交流会について ③第3回北見市権利擁護ネットワーク懇話会について ④第3講市民後見人フォローアップ研修 兼 日常生活自立支援事業生活支援員研修の開催について ⑤常呂圏域における権利擁護の機運を高める取り組みについて ⑥市民後見人養成研修に係る受講者の範囲について ⑦2019年度北海道新聞社会福祉振興基金福祉公募助成事業に係る進捗について（研修会・アンケート調査・ハンドブック等作成に係る進捗、及び展開） ⑧市民後見人による個人受任に向けた関係機関との調整について ⑨権利擁護支援ネットワークニュースレター第5号の発行について、及び周知方法の見直し、並びに範囲の拡大について その他：1)【後見制度支援預金】について 説明：北見信用金庫 業務部業務企画課 課長 工藤 満氏
第5回	令和2年3月4日 ～13日	運営委員会→ 書面協議 【北見市成年後見支援センター令和2年度事業計画】 ①成年後見制度に係る相談及び支援 ②意思決定支援に向けた取り組みの推進 （本人の意向を尊重し、最も適切な後見人候補者を家庭裁判所に推薦するための登録・選任機能の検討） ②メリットを感じられる制度運用に向けた家庭裁判所、行政、職能団体等との協議の場の設定 ④成年後見制度利用促進に向けた実態調査 ○専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士等）の後見受任体制等の把握 ○医療・福祉サービスにおける身元保証等の現状と課題について ⑤成年後見制度の普及啓発 ○研修会の開催（金融機関・専門職・関係機関職員向け 各1回） ○市民向けセミナーの開催（北見地域福祉活動合同推進本部との共催） ⑥市民後見人の養成と活動支援 ○第5期 市民後見人養成研修の開催 ○市民後見人向けフォローアップ講座の開催（年3回） ⑦運営委員会及び審査検討会の開催 ⑧地域連携ネットワークの構築 ○相談支援機関との連携の推進 ○北見市権利擁護支援ネットワーク懇話会の開催

		⑨オホーツク管内市民後見人活動交流会への参加・協力 ⑩きたみ市民後見人の会との連携 ⑪専門職による無料相談の実施（弁護士・司法書士・社会福祉士） ⑫広報誌「権利擁護支援ネットワークニュースレター」の発行（年3回） ⑬市長申立てに係る手続き支援
--	--	---

【審査検討会】

	開催年月日	審査 件数	備 考
第1回	令和元年6月10日	4件	①71歳男性、認知症高齢（下宿） 市長による後見開始の申立て ②69歳男性、知的障がい（障がい者GH） 市長による保佐開始の申立て ③71歳男性、認知症高齢（サ高住） 保佐人による保佐人変更の申立て ④67歳女性、知的障がい（障がい者GH） 後見人による後見人変更の申立て
第2回	令和元年7月23日	1件	①45歳女性、知的障がい（障がい者GH） 市長による補助開始の申立て
第3回	令和元年9月3日	1件	①75歳女性、知的障がい（障がい者施設） 市長による後見開始の申立て
第4回	令和元年11月12日	2件	①71歳女性、知的障がい（障がい者GH） 市長による後見開始の申立て ②86歳女性、認知症高齢（高齢者GH） 市長による後見開始の申立て
第5回	令和2年2月4日	4件	①74歳女性、認知症高齢（在宅） 市長による後見開始の申立て ②82歳女性、認知症高齢（高齢者GH） 市長による後見開始の申立て ③89歳女性、認知症高齢（高齢者GH） 市長による後見開始の申立て ④90歳女性、認知症高齢（老人保健施設） 市長による後見開始の申立て
第6回	令和2年3月6日 ～13日	1件	【メーリングリストによる協議】 ①83歳男性、認知症高齢（介護付き有料老人ホーム） 市長による後見開始の申立て
審査件数計		13件	

（6）専門職による無料相談の実施（弁護士・司法書士・社会福祉士）

①毎月第2水曜日＝弁護士・司法書士（主に法律関係に相談）

毎月第4水曜日＝社会福祉士（主に支援方法の相談）

（社会福祉士）時：令和元年7月10日 於：総合福祉会館 相談件数：4件

（弁護士）時：令和元年8月28日 於：総合福祉会館 相談件数：1件

（社会福祉士）時：令和元年12月11日 於：総合福祉会館 相談件数：2件

（7）会議・研修会への参加

①オホーツク管内権利擁護センター担当者会議

時：令和元年5月16日 於：津別町社会福祉協議会

時：令和元年7月12日 於：北見市社会福祉協議会（総合福祉会館）

時：令和元年9月18日 於：美幌町社会福祉協議会（しゃきっとプラザ）

時：令和元年11月1日 於：北見市社会福祉協議会（総合福祉会館）

時：令和2年1月23日 於：大空町社会福祉協議会（大空町女満別伝承館）

②オホーツク相談支援連絡会議研修会

時：令和元年8月7日 於：北見芸術文化ホール

③家事関係機関との連絡協議会

時：令和元年10月1日 於：釧路家庭裁判所北見支部

④道外視察

時：令和元年12月18日 於：伊賀市地域福祉後見サポートセンター

時：令和元年12月19日 於：尾張東部権利擁護支援センター・豊田市成年後見支援センター

時：令和元年12月20日 於：名古屋市成年後見あんしんセンター

（8）視察研修受入対応

時：令和元年8月1日

池田町社協役職員・池田町町内会連合会合同先進地視察研修 26人

8. 日常生活自立支援事業

(1) 福祉サービス利用援助等の実施

①日常生活自立支援事業に係る電話相談実績 (延べ件数) (件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R1 合計	H30 合計
高齢者等	23	17	10	38	33	26	44	24	24	22	17	28	306	244
知的障がい者等	36	42	35	50	26	56	28	24	21	35	17	39	409	410
精神障がい者等	22	36	12	39	11	10	22	25	15	21	17	14	244	356
不明・その他	5	13	8	6	0	0	4	1	0	0	1	1	39	1
合 計	86	108	65	133	70	92	98	74	60	78	52	82	998	1,010

②日常生活自立支援事業の実施

1. 利用者数

対象者	認知症高齢者	精神障がい者	知的障がい者	R1 合計	H30 合計
利用者数	7人	7人	6人	20人	24人

2. 年代別内訳

年代別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
利用者数	0人	2人	2人	3人	4人	5人	3人	1人	20人

3. 支援回数内訳

支援回数	月2回	月1回	2ヶ月1回	3ヶ月1回	合計
利用者数	3人	14人	1人	2人	20人

4. 社協等預かり

預かり等	通帳	印鑑	貸金庫利用
利用者数	11人	3人	3人

5. 契約状況

契約者数：3人 契約解除者数：7人

成年後見制度への移行者数：0人（平成26年度より累計 4人）

(2) 生活支援員の登録と活動支援

①生活支援員登録者

地 区	北見	端野	常呂	留辺蘂	社協職員	合計
登録者人数	29人	2人	0人	4人	1人	36人

②研修会の開催

年月日・場所	講義内容	講師	参加人数
令和2年2月7日 総合福祉会館	Ⅰ. 事業説明 「日常生活自立支援事業の概要について」 「生活支援員の業務と活動を行う上での留意点」 Ⅱ. ケース報告 Ⅲ. 講話 「理解や表現が十分ではない利用者の生活状況や想いを把握するポイント！」	センター職員 自立生活支援員 社会福祉法人あむ 南9条通サポートセンター 所長 大久保薫氏	40人

(3) 会議・研修会への参加

①令和元年度 北海道地域福祉センター【網走地区】

指揮監督者／自立生活支援専門員／生活支援員研修会

時：令和元年9月4日 於：網走市 出席者：1人

②令和元年度 北海道地域福祉生活支援センター 自立生活支援専門員研修会

時：令和元年12月19日 於：札幌市 出席者：1人

Ⅲ. 在宅福祉事業

1. ヘルパーステーション（介護保険事業他）

（1）介護保険事業及び介護予防・日常生活支援総合事業の実施

種 別	ステーション	延実利用者数	派遣延回数	派遣延時間数
介護給付	北 見	917 人	8,966 回	11,271 時間 50 分
	端 野	111 人	762 回	898 時間 00 分
	常 呂	124 人	801 回	731 時間 40 分
	留辺蘂	59 人	336 回	369 時間 30 分
	計	1,211 人	10,865 回	13,271 時間 00 分
総合事業	北 見	646 人	3,234 回	3,572 時間 50 分
	端 野	99 人	509 回	569 時間 00 分
	常 呂	216 人	1,217 回	1,257 時間 40 分
	留辺蘂	141 人	657 回	672 時間 00 分
	計	1,102 人	5,617 回	6,071 時間 30 分
合 計	北 見	1,563 人	12,200 回	14,844 時間 40 分
	端 野	210 人	1,271 回	1,467 時間 00 分
	常 呂	340 人	2,018 回	1,989 時間 20 分
	留辺蘂	200 人	993 回	1,041 時間 30 分
	計	2,313 人	16,482 回	19,342 時間 30 分
H30 実績	北 見	1,586 人	12,904 回	16,792 時間 45 分
	端 野	242 人	1,933 回	2,224 時間 15 分
	常 呂	290 人	1,670 回	1,721 時間 45 分
	留辺蘂	300 人	1,790 回	1,946 時間 10 分
	計	2,418 人	18,297 回	22,684 時間 55 分

（2）障害者総合支援事業の実施

種 別	ステーション	延実利用者数	派遣延回数	派遣延時間数
身体障害	北 見	43 人	266 回	189 時間 50 分
知的障害	北 見	21 人	77 回	77 時間 00 分
	常 呂	8 人	152 回	133 時間 00 分
	計	29 人	229 回	210 時間 00 分
精神障害	北 見	171 人	1,367 回	1,775 時間 45 分
	常 呂	12 人	357 回	327 時間 00 分
	計	183 人	1,724 回	2,102 時間 45 分
同行援護	北 見	38 人	182 回	310 時間 00 分
合 計	北 見	273 人	1,892 回	2,352 時間 35 分
	常 呂	20 人	509 回	460 時間 00 分
	計	293 人	2,401 回	2,812 時間 35 分
H30 実績	北 見	345 人	2,585 回	3,363 時間 15 分
	常 呂	20 人	475 回	426 時間 00 分
	計	365 人	3,060 回	3,789 時間 15 分

(3) 生活管理指導員派遣事業（自立者支援）の実施（市受託事業）

種 別	ステーション	延実利用者数	派遣延回数	派遣延時間数
家事援助	北 見	23 人	95 回	95 時間 00 分
	端 野	11 人	42 回	42 時間 00 分
	計	34 人	137 回	137 時間 00 分
H30 実績	北 見	32 人	135 回	135 時間 00 分
	端 野	12 人	49 回	49 時間 00 分
	常 呂	4 人	15 回	15 時間 00 分
	計	48 人	199 回	199 時間 00 分

(4) 養育支援事業の実施（市受託事業）

種 別	ステーション	延実利用者数	派遣延回数	派遣延時間数
家事援助	北 見	8 人	25 回	49 時間 30 分
H30 実績	北 見	2 人	7 回	14 時間 00 分

(5) 福祉有償運送事業の実施（本所・常呂支所）（自主事業）

種 別	ステーション	延実利用者数	派遣延回数	H30 実績	
				延実利用者数	派遣延回数
移送サービス	北 見	142 人	277 回	169 人	606 回
	常 呂	17 人	22 回	30 人	91 回
	計	159 人	299 回	199 人	697 回

(6) 職員研修の実施及び各種研修会への参加

事 業 名	回 数	参加者
介護技術の資質向上に向けた講習会	7 回	27 人
その他、医療・保健・福祉に関する研修会	3 回	3 人

(7) 訪問介護職員の定例会議の実施

	北 見	端 野	常 呂	留辺蘂
回 数	週 1 回	週 1 回	月 2 回	月 1 回

2. 居宅介護支援事業（中央地区・常呂地区）

(1) 居宅介護支援サービス等の実施（介護保険事業、市受託事業）

事 業 所	中 央	常 呂	合 計	H30 実績
居宅サービス計画の作成及びサービスの利用管理	2,550 人	612 人	3,162 人	3,187 人
介護保険サービス利用にかかる代行申請	201 人	41 人	242 人	224 人
居宅生活にかかる相談や情報提供	6,826 人	850 人	7,676 人	7,778 人
介護保険の要介護認定調査	188 人	57 人	245 人	237 人
福祉サービスにかかる利用計画書の作成	12 人	26 人	38 人	47 人
予防給付ケアマネジメント業務	769 人	25 人	794 人	495 人

(2) 職員研修の実施及び各種研修会への参加

事 業 名	中 央		常 呂	
	回数	参加者	回数	参加者
居宅介護支援事業所等連絡会議	1 回	8 人	2 回	2 人
北見地域介護支援専門員連絡協議会研修会	10 回	62 人	5 回	5 人
北見市医療機関・在宅ケアマネジャー連絡会議	2 回	4 人	0 回	0 人
地域包括支援センター主催研修会	3 回	11 人	—	—
北海道（主任）介護支援専門員更新研修	1 回	2 人	1 回	1 人
常呂地区福祉事業所連絡会議	—	—	1 回	1 人
身体拘束評価検討委員会	—	—	6 回	6 人
その他、医療・保健・福祉に関する研修会	5 回	29 人	3 回	3 人

3. 端野デイサービスセンター事業

(1) 介護保険事業及び介護予防・日常生活支援総合事業の実施

	実施日数	延実利用者数	延利用人数	1日平均利用者数
介護給付	240 日	343 人	3,295 人	13.73 人
総合事業		161 人	694 人	2.89 人
計	240 日	504 人	3,989 人	16.62 人
H30 実績	242 日	634 人	4,341 人	17.93 人

※介護給付と総合事業は同日において、一体的な利用により実施しています。

(2) 基準該当生活介護事業の実施

	実施日数	延実利用者数	延利用人数	1日平均利用者数
基準該当生活介護	48 日	24 人	93 人	1.94 人
H30 実績	48 日	24 人	92 人	1.91 人

(3) 利用者に対する外出行事

	実施回数	場 所	延参加者
外出見学	25 回	北見フラワーパラダイス他	350 人
1日バス遠足	5 回	上湧別チューリップ公園	33 人

(4) 給食業務の実施

	通常食	行事食	合 計
外部業者委託	3,733 食	255 食	3,988 食

(5) 職員の研修会への参加

事 業 名	回 数	延参加者
定例職員会議	月 1 回	60 人
介護保険事業所等説明会及び集団指導等	2 回	2 人
その他、医療・保健・福祉に関する研修会	6 回	7 人

(6) ボランティアの積極的な受入の実施：協力ボランティア数 106 人

IV. 法人運営事業

1. 法人の適切な運営

(1) 理事会の開催状況

回 数	開 催 年 月 日	審 議 事 項	出席者
第 1 回	令和元年 5 月 29 日	1. 平成 30 年度社会福祉法人北見市社会福祉協議会事業について 2. 平成 30 年度社会福祉法人北見市社会福祉協議会決算について 3. 次期役員候補者の推薦について 4. 評議員選定委員会の選任について 5. 評議員候補者の推薦について 6. 令和元年度定時評議員会の招集について 7. 社会福祉法人北見市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正（案）について	理事 10 人 監事 2 人
第 2 回	令和元年 6 月 13 日	1. 会長、副会長並びに常務理事の選定について 2. 退任に伴う第三者委員の選任について	理事 14 人 監事 2 人

第 3 回	令和元年 12 月 16 日	1. 令和元年度社会福祉法人北見市社会福祉協議会上期事業について 2. 令和元年度社会福祉法人北見市社会福祉協議会上期収支執行状況について 3. ヘルパーステーションパートタイム職員就業規程の一部改正について 4. 情報開示申出にかかる情報開示決定について 5. 会長及び常務理事の業務執行状況について	理事 14 人 監事 1 人
第 4 回	令和 2 年 3 月 16 日	1. 社会福祉法人北見市社会福祉協議会福祉基金の一部処分について 2. 社会福祉法人北見市社会福祉協議会福祉ショップ運営積立金の一部取崩について 3. 社会福祉法人北見市社会福祉協議会子どもの福祉推進事業積立金の一部取崩しについて 4. 社会福祉法人北見市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正（案）について 5. 令和 2 年度社会福祉法人北見市社会福祉協議会事業計画（案）について 6. 令和 2 年度社会福祉法人北見市社会福祉協議会収支予算（案）について 7. 第 2 回評議員会の招集事項について 8. 社会福祉法人北見市社会福祉協議会就業規程の一部改正（案）について 9. 北見市社会福祉協議会常呂地区居宅介護支援事業所運営規程の一部改正（案）について 10. 会長及び常務理事の業務執行状況について	書面審議 理事 15 人 監事 2 人

(2) 評議員会の開催

回 数	開 催 年 月 日	審 議 事 項	出席者
定 時	令和元年 6 月 13 日	1. 平成 30 年度社会福祉法人北見市社会福祉協議会事業について 2. 平成 30 年度社会福祉法人北見市社会福祉協議会決算について 3. 役員の選任について	評議員 24 人
第 2 回	令和 2 年 3 月 26 日	1. 社会福祉法人北見市社会福祉協議会福祉基金の一部処分について 2. 社会福祉法人北見市社会福祉協議会福祉ショップ運営積立金の一部取崩しについて 3. 社会福祉法人北見市社会福祉協議会子どもの福祉推進事業積立金の一部取崩しについて 4. 令和 2 年度社会福祉法人北見市社会福祉協議会事業計画（案）について 5. 令和 2 年度社会福祉法人北見市社会福祉協議会収支予算（案）について	書面審議 評議員 29 人

(3) 正副会長会議の開催

実施回数：7 回（臨時 1 回を含む）

(4) 定例監査の実施

①内部監査の実施（年 4 回） 監査人：監事 2 人

②任意監査の実施

時：令和元年 5 月 24 日 監査人：会計顧問

(5) 課長支所長会議の開催（例月）

実施回数：12 回 臨時：7 回

(6) 地域福祉推進委員会の開催（端野・常呂・留辺蘂支所）

区 分	開催年月日・場所	協 議 内 容	出席者
端 野	令和元年 5 月 15 日	1. 令和元年度端野支所所管事業計画及び予算について 2. 社協会費・共同募金及び各種委員等について	16 人
	令和 2 年 2 月 6 日	1. 地域包括支援センター設置に係る要望について 2. 東部・端野地区地域包括支援センター事業への社協役職員参画及び関係団体への周知について 3. 令和元年度「町内会福祉活動助成事業」について 4. 令和 2 年度「端野支所新規事業」について 5. ふれあいサービス事業について 6. 次年度における「端野地域福祉推進委員の改選」について	15 人
常 呂	令和元年 5 月 10 日	1. 社協常呂支所会費等収支決算について 2. 介護用品給付事業実施要綱の一部改正について 3. 平成 30 年度常呂支所所管事業報告及び令和元年度事業計画について 4. 常呂地域福祉推進委員会取り決め事項の一部改正について 5. 役員等推薦委員会による評議員・理事の推薦について	16 人
	令和元年 11 月 29 日	1. 令和元年度北見市社会福祉協議会常呂支所上期事業報告について 2. 令和 2 年度北見市社会福祉協議会常呂支所事業計画(案)について	17 人
留辺蘂	令和元年 5 月 7 日	1. 平成 30 年度留辺蘂支所所管事業報告及び令和元年度事業計画について 2. 第 30 回ふれあい広場るべしべについて	10 人

(7) 法律顧問及び会計顧問の設置

(8) 職員研修の実施

①新任職員研修会

時：令和元年 8 月 7 日 於：総合福祉会館 参加者：11 人

②各種会議への参加

No.	会 議 事 業 名	開 催 年 月 日	開催地	出席者
1	全道新任社協会長・事務局長研修会及び全道市町村社協会長・事務局長研究協議会	令和元年 6 月 18 日～20 日	札幌市	2 人
2	管内市町村社会福祉協議会連絡協議会第 1 回会長・事務局長会議	令和元年 7 月 10 日	網走市	2 人
3	管内社会福祉協議会職員連絡協議会総会並びに自主研修会	令和元年 7 月 4 日～5 日	雄武町	1 人
4	総務担当者専門研修	令和元年 7 月 30 日～31 日	札幌市	1 人
5	全道社協地域部会第 2 回幹事会	令和元年 10 月 9 日～10 日	札幌市	1 人
6	法人役員研修（社会福祉協議会）	令和元年 11 月 12 日～13 日	札幌市	1 人
7	全道市町村社協事務局長連絡会議	令和元年 12 月 12 日～13 日	札幌市	1 人
8	道社協地域部会第 3 回幹事会	令和 2 年 1 月 30 日～31 日	札幌市	1 人

(9) 産業医の職場巡視

①職員の健康管理及び職場環境の点検に係る産業医による定期職場巡視：年 6 回

(10) 実習生の受入

①北見医師会看護専門学校臨地実習

時：令和元年 5 月 28 日～30 日・6 月 18 日～20 日・8 月 20 日～22 日・10 月 1 日～3 日
実習生：12 人

②社会福祉士養成実習生の受入れ

受入校：東北福祉大学通信教育部 実習内容：精神保健福祉援助実習・教育実習
時：令和元年 7 月 1 日～7 月 19 日・9 月 24・26～30 日 実習生：1 人

③北見地域職業訓練センター職場実習訓練生の受け入れ

時：令和元年8月1日～29日 実習生：1人

④留辺蘂高等学校インターンシップの受け入れ

時：令和元年6月19日～6月21日（3日間） 実習生：1人

(11)高知市社協との交流事業

時：令和元年11月28日～30日 於：高知市社会福祉協議会 派遣：2人

2. 財政強化の推進

(1) 社協会員加入（普通会費・賛助会費）の拡大促進

①社協会費収入状況

(単位：件・円)

区 分	個 人		法人・団体		町 内 会		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
本 所	723	841,000	214	1,689,000	373	1,221,830	1,310	3,751,830
端 野	65	70,000	90	325,000	8	547,500	163	942,500
常 呂	65	106,000	10	96,000	19	568,000	94	770,000
留辺蘂	57	83,000	54	189,216	35	563,400	146	835,616
合 計	910	1,100,000	368	2,299,216	435	2,900,730	1,713	6,299,946
H30実績	931	1,135,360	369	2,228,716	446	2,925,370	1,746	6,289,446

(2) 自主財源増強に向けた取り組み強化

①寄付金収入状況

(単位：件・円)

年 度	本 所		端野支所		常呂支所		留辺蘂支所		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R1	56	5,546,217	29	744,757	17	1,440,895	69	1,200,128	171	8,931,997
H30	49	4,451,759	41	1,288,597	24	1,238,469	62	1,436,861	176	8,415,686

3. 指定管理施設の適切な運営

(1) 総合福祉会館管理経営事業（本所）

①利用状況

開館日数	利用件数	利用人数	月平均利用者数	1日平均利用者数
302日	3,6377件	45,980人	3,832人	152.3人

②室別利用状況

室 名	利用件数	利用人数	室 名	利用件数	利用人数
体 育 集 会 室	723件	19,041人	5 号 会 議 室	12件	105人
教 養 娛 楽 室	539件	4,503人	4・5号会議室	396件	5,351人
1 号 会 議 室	304件	2,375人	研 修 室	411件	4,703人
2 号 会 議 室	422件	2,810人	ボランティア室	250件	2,233人
3 号 和 室	342件	2,938人	その他(視聴覚室・相談室)	285件	1,811人
4 号 会 議 室	12件	110人	合 計	3,696件	45,980人

④高齢者趣味の教室事業の実施

教 室 名	実 施 期 間	回数	講師名	延参加者
絵 画 教 室	前期：平成31年4月9日～令和元年8月27日	15回	阿 部 賢一氏	233人
	後期：令和元年9月10日～令和2年1月28日	15回		234人
籐 工 芸 教 室	前期：平成31年4月10日～令和元年7月24日	15回	平 タ ミ氏	128人
	後期：令和元年8月21日～12月4日	15回		160人
陶 芸 教 室	前期：平成31年4月11日～令和元年8月1日	15回	北見陶芸同好会	171人
	後期：令和元年8月22日～12月5日	15回		163人
囲 碁 教 室	前期：平成31年4月11日～令和元年7月25日	15回	田 中 四郎氏	292人
	後期：令和元年8月22日～11月28日	15回		355人

書 道 教 室	前期：平成31年4月12日～令和元年7月26日	15回	菊 地 忠 雄 氏	129人
	後期：令和元年8月23日～11月29日	15回		124人

(2) 老人いこいの家管理経営事業（常呂支所）

①利用状況

開館日数	利用件数	利用人数	月平均利用者数	1日平均利用者数
222日	372件	4,704人	392人	21.2人

②室別利用状況

室 名	利用件数	利用人数	室 名	利用件数	利用人数
集 会 室	253件	3,800人	合 計	372件	4,704人
和 室	119件	904人			

(3) はあとふるプラザ管理経営事業（留辺蘂支所）

①利用状況

開館日数	利用件数	利用人数	月平均利用者数	1日平均利用者数
264日	485件	4,074人	339.5人	15.4人

②室別利用状況

室 名	利用件数	利用人数	室 名	利用件数	利用人数
A 会 議 室	164件	1,443人	和 室	119件	846人
B 会 議 室	202件	1,785人	合 計	485件	4,074人